

---

平成 16 年度  
徳島大学附属図書館  
年次報告書

---



平成 1 7 年 3 月

University Library The University of Tokushima

---

# 目 次

## ． 概 要

1．沿革	1
2．歴代館長・分館長	4
3．附属図書館運営委員会委員名簿	5
4．組織及び職員	7
5．蔵書・コレクション	8
6．施設・設備	11

## ． 中期計画及び年度計画

1．中期計画に係る平成16年度「年度計画」及び平成16年度事業計画	14
2．平成16年度「年度計画」の年度終了時の評価	17

## ． 活動状況

1．一年の主な出来事	18
事業のスナップ写真	21
2．建物、施設・設備の整備	
(1) 利用環境の整備と館内アメニティの改善	22
(2) 情報検索性パソコン等のIT機器、ネットワーク利用環境の整備・充実	22
3．資料の整備	
(1) 学生用図書の本数の整備・充実	23
(2) 電子ジャーナル等の整備・充実	24
(3) 図書館資産台帳と現品の実査	26
(4) 蔵書数と年間受入図書数	26
4．利用者へのサービス	
(1) 利用者サービスの改善	
1) 開館日・開館時間の拡大	27
2) 本館・分館間のデリバリーサービス	27
3) 館内サインの更新・充実	27
4) サービスカウンター等応接マニュアルの整備	27
(2) 資料提供サービス	
1) 閲覧	
開館日・開館時間	28
開館状況	28
2) 貸出	
貸出条件	28

貸出人数・冊数	29
入館者数	29
利用対象者数	29
(3) 情報提供サービス	
1) 参考調査	
レファレンス・サービス	30
文献複写	30
2) 図書館間相互利用	
文献複写	30
現物貸借	30
(4) 電子図書館サービス	
1) デジタルコンテンツ	31
2) データベース	31
3) 電子ジャーナル	32
4) 資料の組織化	33
5. 図書館活動	
(1) 図書館案内ツアー等各種ガイダンス	
1) 新入生を対象としたオリエンテーション	34
2) 図書館案内ツアー	34
3) O P A C 検索・各種データベース等ガイダンス	34
(2) 図書館の広報及び出版活動	
1) 図書館ホームページ	34
2) 出版物	35
(3) 講演会等催事	37
6. 地域社会等及び他機関との連携・協力	
(1) 一般市民等への公開	38
(2) 他機関との連携	
1) 学内	38
2) 学外(図書館界での諸活動等)	
国立国会図書館	39
国立大学図書館協会	39
中国四国地区国立大学図書館協会	39
中国四国地区大学図書館協議会	39
N P O 法人日本医学図書館協会	40
徳島県大学図書館協会	40
中国四国地区国立大学図書館学術情報・図書館・事務部長会議	41

中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議	4 1
7. その他	
(1) 職員研修	4 2
(2) 安全管理体制の充実	4 4
(3) 図書館事務組織の見直し	4 5
(4) 諸会議	
1) 附属図書館運営委員会	4 5
2) 附属図書館蔵本分館運営委員会	4 8
3) 附属図書館常三島地区運営委員会	4 9
4) その他の委員会	4 9
. 課題等	
1. 建物、施設・設備	
(1) 附属図書館本館(南常三島)の新営	5 1
(2) 蔵本分館の利用環境の整備	5 1
2. 資料の整備・充実	
(1) 学生用図書の本整備・充実	5 1
(2) 学術雑誌(電子ジャーナル含む)の本整備・充実	5 1
(3) 学術情報データベース	5 2
3. 利用者サービスの改善	
(1) 各種マニュアルの本整備とガイダンスの本充実	5 2
(2) 本館・分館間のデリバリーサービス	5 2
(3) 開館方式の本適正化	5 2
(4) 広報の本整備・充実	5 2
4. 社会・地域連携	
(1) 県内公共図書館との連携を強化	5 2
(2) 地域住民へのサービス充実	5 2
5. 組織・人事	
(1) 事務組織の本再編	5 2
(2) 人材育成	5 3
6. その他	
(1) 省エネルギー	5 3
. その他	
1. 図書館係長会議	5 4
2. 図書館内各種ワーキング	
(1) 事務組織見直し検討ワーキンググループ	5 4
(2) 広報検討ワーキンググループ	5 5

( 3 ) 図書館システムワーキンググループ	5 5
( 4 ) 文献検索マニュアル作成ワーキンググループ	5 6
( 5 ) データベース作成ワーキンググループ	5 7
3 . 図書館関係諸規程等一覧	5 7

## 概要

### 1. 沿革

- 昭和 24 . 5 国立学校設置法（法律第150号）の公布により旧制の徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校、徳島工業専門学校を包括し、学芸学部、医学部、工学部の3学部で構成する新制の国立徳島大学として発足  
附属図書館は、学芸学部図書分館、医学部図書分館、工学部図書分館として発足
- 26 . 4 国立学校設置法の一部改正（法律第84号）により薬学部設置（工学部製薬工業科から独立）、工学部図書分館を併用
- 27 . 5 附属図書館（本館）設置、学芸学部図書分館、工学部図書分館を併せて常三島分館、医学部図書分館を蔵本分館と改称
- 34 . 4 本館事務機構を総務係から総務係、図書係に改組
- 37 . 3 蔵本分館書庫新築完成
- 38 . 2 蔵本分館事務室新築完成
- 38 . 4 薬学部関係図書を常三島分館から蔵本分館へ移転
- 43 . 3 常三島分館廃止（本館に包括）
- 44 . 11 蔵本分館事務機構を事務室から受入係、運用係に改組
- 46 . 3 常三島地区に本館新築完成
- 53 . 3 本館書庫を4層から5層に1層増設完成
- 53 . 10 蔵本分館事務機構を受入係、運用係から受入係、整理係、運用係に改組
- 54 . 3 蔵本分館増築完成
- 55 . 4 本館事務機構を総務係、整理係、運用係から総務係、受入係、整理係、運用係に改組
- 58 . 4 蔵本分館事務機構を受入係、整理係、運用係から受入係、整理係、運用係、情報調査係に改組
- 59 . 4 情報処理センター（現、高度情報化基盤センター）電算機システムによりオンラインによる閲覧業務開始
- 60 . 3 本館増築完成
- 平成 2 . 2 附属図書館専用電子計算機を導入
- 2 . 2 学術情報センター（現、国立情報学研究所）総合目録ネットワークに参加
- 3 . 4 附属図書館事務部に部課制を設置、事務機構を情報管理課5係（総務、図書情報、雑誌情報、分館資料情報、分館目録情報）、情報サービス課3係（情報サービス、学術情報、分館情報サービス）に改組
- 3 . 4 情報管理課に図書館専門員設置

- 平成 3 . 4 O P A C ( オンライン利用者目録 ) 運用開始
- 4 . 4 事務機構を情報管理課 4 係 ( 総務、図書情報、雑誌情報、分館資料情報)、情報サービス課 4 係 ( 情報サービス、学術情報、分館情報サービス、分館情報調査 ) に改組
- 4 . 4 I L L ( 図書館間相互貸借 ) システムによるサービス開始
- 4 . 4 土曜開館実施
- 6 . 2 附属図書館専用電子計算機更新
- 6 . 7 C D - R O M ( M E D L I N E ) ネットワークサービス開始
- 6 . 9 蔵本分館増築完成
- 6 . 9 本館時間外開館時間延長
- 7 . 9 蔵本分館試験期時間外開館時間延長
- 8 . 3 自己点検評価報告書刊行
- 9 . 1 本館学術雑誌閲覧室設置
- 9 . 2 U N I X 版図書館電算機システム導入
- 10 . 4 附属図書館ホームページ開設
- 10 . 4 貴重書高精度画像データベース公開 ( 伊能図・古絵図の高精細画像データベース化 )
- 10 . 4 C A on C D , C I on C D ネットワークサービス開始
- 10 . 4 図書自動貸出装置導入
- 10 . 4 マルチメディア・プラザ設置 ( 本館 )
- 10 . 7 無料電子ジャーナルサービス開始
- 10 . 10 特殊資料閲覧室・展示室設備
- 11 . 3 視聴覚ライブラリーシステム導入
- 11 . 3 オーディオ・ビジュアル・メディア室設置
- 11 . 3 マルチメディア・コーナー設置 ( 蔵本分館 )
- 12 . 3 夜間入退館管理システム導入 ( 蔵本分館 )
- 12 . 3 情報コンセント ( 16 個 ) 設置 ( 本館 )
- 12 . 4 情報サービス課 4 係 ( 情報サービス、学術情報、分館情報サービス、分館情報調査 ) を情報サービス課 4 係 ( 情報サービス、学術情報、電子情報、分館情報サービス ) に改組
- 13 . 4 日曜開館実施
- 13 . 9 試験期 23 時まで開館実施
- 14 . 1 コンソーシアム参加による電子ジャーナル利用開始
- 14 . 1 SciFinder Scholar の導入
- 14 . 5 学生証利用の入退館管理システム運用開始
- 14 . 11 英文版ホームページ開設

- 平成 15 . 1 自己点検・評価報告書刊行  
15 . 5 工学部学びの相談室を本館で実施  
15 . 7 本館郷土資料配架方法の変更（五十音別から分類順）  
15 . 7 試験期間中の祝日開館実施  
15 . 7 日本薬学図書館協会脱会  
15 . 9 高精細画像ネットで公開  
16 . 3 利用案内ビデオ完成  
16 . 4 本館3階に電話ボックス設置  
16 . 6 蔵本分館学部学生に24時までの利用開始  
16 . 7 携帯電話版OPACの運用開始  
16 . 8 図書館資産台帳と現品の実査  
16 . 10 年度評価（10月期中間評価）に関する自己点検評価専門委員会開催  
16 . 10 職員名札着用開始  
16 . 12 消防訓練実施（本館）  
17 . 2 メールマガジン 館報「すだち」創刊号発刊  
17 . 3 消防訓練実施（蔵本分館）  
17 . 3 附属図書館ホームページリニューアル



## 2. 歴代館長・分館長

○附属図書館長	初代	松田	亮一（工学）	昭27.5.23~	昭29.5.22
	2	市来崎	寿蔵（薬学）	昭29.5.23~	昭31.5.22
	3	市来崎	寿蔵（薬学）	昭31.5.23~	昭33.3.31
	4	冲野	舜二（学芸）	昭33.4.1~	昭35.3.31
	5	高島	律三（医学）	昭35.4.1~	昭37.3.31
	6	伊藤	努（工学）	昭37.4.1~	昭38.7.17
	7	田村	昇（薬学）	昭38.7.18~	昭40.7.17
	8	宮城	文雄（教育）	昭40.7.18~	昭42.7.17
	9	鈴木	幸夫（医学）	昭42.7.18~	昭44.7.17
	10	鈴木	幸夫（医学）	昭44.7.18~	昭46.7.17
	11	丸山	隆玄（工学）	昭46.7.18~	昭48.7.17
	12	丸山	隆玄（工学）	昭48.7.18~	昭49.4.1
	13	吉田	長之（医学）	昭49.4.2~	昭51.4.1
	14	富本	健輔（教養）	昭51.4.2~	昭53.4.1
	15	松本	淳治（医学）	昭53.4.2~	昭55.4.1
	16	竹治	貞夫（教育）	昭55.4.2~	昭57.4.1
	17	小林	茂（薬学）	昭57.4.2~	昭59.4.1
	18	浦川	和馬（工学）	昭59.4.2~	昭60.4.18
	(取)	川田	十三夫（医学）	昭60.4.18~	昭60.7.31
	19	川田	十三夫（医学）	昭60.8.1~	昭62.7.31
	20	須鎗	和巳（教養）	昭62.8.1~	平元.7.31
	21	宮本	博司（医学）	平元.8.1~	平3.7.31
	22	後藤	健次（総合）	平3.8.1~	平5.7.31
	23	井上	秀夫（歯学）	平5.8.1~	平7.7.31
	24	青山	吉隆（工学）	平7.8.1~	平8.3.31
	25	河野	清（工学）	平8.4.1~	平9.3.31
	26	寺田	弘（薬学）	平9.4.1~	平11.3.31
	27	岩田	紀（総合）	平11.4.1~	平13.3.31
	28	森田	雄介（医学）	平13.4.1~	平15.3.31
	29	林	弘（工学）	平15.4.1~	平17.3.31
○常三島分館長	初代	岸本	実（学芸）	昭27.5.23~	昭29.5.22
	2	安村	二郎（工学）	昭29.5.23~	昭31.5.22
	3	冲野	舜二（学芸）	昭31.5.23~	昭33.3.31
	4	平形	照男（薬学）	昭33.4.1~	昭35.3.31

5	久米	泰三 (工学)	昭 35 . 4 . 1 ~	昭 37 . 3 . 31
6	富野	敬邦 (学芸)	昭 37 . 4 . 1 ~	昭 39 . 3 . 31
7	杉野	捨三郎 (工学)	昭 39 . 4 . 1 ~	昭 41 . 3 . 31
8	幸泉	芳夫 (教育)	昭 41 . 4 . 1 ~	昭 43 . 3 . 31

昭和 4 3 年 3 月 3 1 日 廃止 (本館に包括)

○蔵本分館長	初代	黒田	嘉一郎 (医学)	昭 27 . 7 . 22 ~	昭 29 . 3 . 31
	2	梶本	義衛 (医学)	昭 29 . 4 . 1 ~	昭 31 . 3 . 31
	3	吉田	長之 (医学)	昭 31 . 4 . 1 ~	昭 33 . 3 . 31
	4	新見	嘉兵衛 (医学)	昭 33 . 4 . 1 ~	昭 35 . 3 . 31
	5	高島	律三 (医学)	昭 35 . 4 . 1 ~	昭 37 . 3 . 31
	6	高島	律三 (医学)	昭 37 . 4 . 1 ~	昭 39 . 3 . 31
	7	棚瀬	弥一郎 (薬学)	昭 39 . 4 . 1 ~	昭 41 . 3 . 31
	8	鈴木	幸夫 (医学)	昭 41 . 4 . 1 ~	昭 42 . 7 . 17
	9	四方	一郎 (医学)	昭 42 . 7 . 18 ~	昭 45 . 3 . 31
	1 0	小林	茂 (薬学)	昭 45 . 4 . 1 ~	昭 47 . 3 . 31
	1 1	山田	正興 (医学)	昭 47 . 4 . 1 ~	昭 49 . 3 . 31
	1 2	川田	純 (薬学)	昭 49 . 4 . 1 ~	昭 51 . 3 . 31
	1 3	松本	淳治 (医学)	昭 51 . 4 . 1 ~	昭 53 . 3 . 31
	1 4	亀谷	富士夫 (薬学)	昭 53 . 4 . 1 ~	昭 55 . 3 . 31
	1 5	檜澤	一夫 (医学)	昭 55 . 4 . 1 ~	昭 57 . 3 . 31
	1 6	高田	充 (歯学)	昭 57 . 4 . 1 ~	昭 59 . 3 . 31
	1 7	川田	十三夫 (医学)	昭 59 . 4 . 1 ~	昭 60 . 7 . 31
	1 8	塚谷	博昭 (薬学)	昭 60 . 8 . 1 ~	昭 63 . 3 . 31
	1 9	宮本	博司 (医学)	昭 63 . 4 . 1 ~	平元 . 7 . 31
	2 0	坂東	永一 (歯学)	平元 . 8 . 1 ~	平 3 . 3 . 31
	(取)	宮本	博司 (医学)	平 3 . 4 . 1 ~	平 3 . 7 . 31
	2 1	山下	卓哉 (薬学)	平 3 . 8 . 1 ~	平 5 . 7 . 31
	2 2	森田	雄介 (医学)	平 5 . 8 . 1 ~	平 7 . 7 . 31
	2 3	上村	修三郎 (歯学)	平 7 . 8 . 1 ~	平 9 . 7 . 31
	2 4	石村	和敬 (医学)	平 9 . 8 . 1 ~	平 11 . 7 . 31
	2 5	山内	卓 (薬学)	平 11 . 8 . 1 ~	平 13 . 7 . 31
	2 6	細井	和雄 (歯学)	平 13 . 8 . 1 ~	平 15 . 7 . 31
	2 7	泉	啓介 (医学)	平 15 . 8 . 1 ~	

### 3 . 附属図書館運営委員会委員名簿 (平成 1 7 年 3 月 3 1 日現在)

館 長 工学部 教授 林 弘 15 . 4 . 1 ~ 17 . 3 . 31

分館長	医学部	教授	泉 啓介	15. 8. 1~17. 7.31
	総合科学部	教授	安東 諒	15. 4. 1~17. 3.31
	総合科学部	教授	大淵 朗	16. 3. 1~18. 2.28
	医学部	教授	松本 俊夫	16. 4. 1~18. 3.31
	医学部	教授	寺尾 純二	16. 4. 1~18. 3.31
	歯学部	教授	細井 和雄	16. 4. 1~18. 3.31
	歯学部	教授	吉本 勝彦	16. 4. 1~18. 3.31
	薬学部	教授	樋口 富彦	16. 3. 1~18. 2.28
	薬学部	教授	落合 正仁	16.10. 1~18. 3.31
	工学部	教授	端野 道夫	16. 3. 1~18. 2.28
	工学部	教授	任 福継	16. 4. 1~18. 3.31
	大学開放実践センター	助教授	宮田 政徳	16. 4. 1~18. 3.31
	分子酵素学研究センター	教授	谷口 寿章	16. 4. 1~18. 3.31
	高度情報化基盤センター	教授	大恵 俊一郎	16. 6.21~18. 6.20
	ゲノム機能研究センター	教授	高濱 洋介	16. 4. 1~18. 3.31
	留学生センター	助教授	上田 崇仁	16. 6.21~18. 6.20
	医療技術短期大学部	教授	藤井 正信	16. 4. 1~18. 3.31

○蔵本分館地区運営委員会委員名簿（平成17年3月31日現在）

分館長	医学部	教授	泉 啓介	15. 8. 1~17. 7.31
	医学部	教授	松本 俊夫	16. 4. 1~18. 3.31
	医学部	教授	寺尾 純二	16. 4. 1~18. 3.31
	歯学部	教授	細井 和雄	16. 4. 1~18. 3.31
	歯学部	教授	吉本 勝彦	16. 4. 1~18. 3.31
	薬学部	教授	樋口 富彦	16. 3. 1~18. 2.28
	薬学部	教授	落合 正仁	16.10. 1~18. 3.31
	分子酵素学研究センター	教授	谷口 寿章	16. 4. 1~18. 3.31
	ゲノム機能研究センター	教授	高濱 洋介	16. 4. 1~18. 3.31
	医療技術短期大学部	教授	藤井 正信	16. 4. 1~18. 3.31

○常三島地区運営委員会委員名簿（平成17年3月31日現在）

総合科学部	教授	安東 諒	15. 4. 1~17. 3.31
総合科学部	教授	大淵 朗	16. 3. 1~18. 2.28
工学部	教授	端野 道夫	16. 3. 1~18. 2.28
工学部	教授	任 福継	16. 4. 1~18. 3.31
大学開放実践センター	助教授	宮田 政徳	16. 4. 1~18. 3.31
高度情報化基盤センター	教授	大恵 俊一郎	16. 6.21~18. 6.20
留学生センター	助教授	上田 崇仁	16. 6.21~18. 6.20

#### 4. 組織及び職員



#### 職員数

平成17年3月31日現在

本館	職員	有期雇用職員		合計
		契約	パート	
事務部長	1			1
課長	2			2
総務係	2		2	4
図書情報係	2	2	4	8
雑誌情報係	1 (係長併任)		1	2
情報サービス係	2	1	1 (6)	4 (6)
学術情報係	1 (係長併任)		1	2
電子情報係	2			2
小計	13	3	9 (6)	25 (6)
蔵本分館				
分館資料情報係	1	2	1	4
分館情報サービス係	2 (係長併任)	1	3 (6)	6 (6)
小計	3	3	4 (6)	10 (6)
合計	16	6	13 (12)	35 (12)

( )内は時間外開館要員：外数

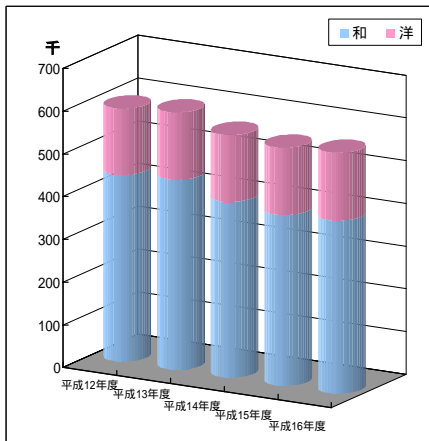
## 5. 蔵書・コレクション

### 蔵書数

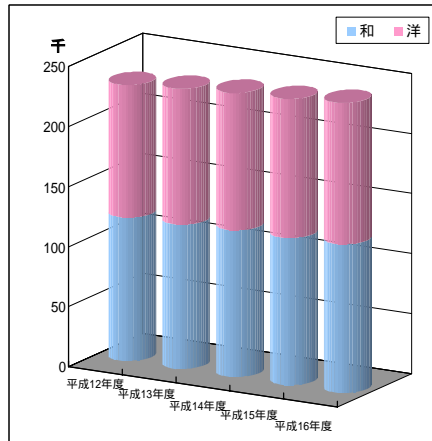
本館(図書)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成12年度	436,819	155,401	592,220
平成13年度	444,817	157,231	602,048
平成14年度	411,501	156,483	567,984
平成15年度	399,327	157,223	556,550
平成16年度	405,433	158,545	563,978

蔵本分館(図書)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成12年度	119,278	110,288	229,566
平成13年度	120,182	112,945	233,127
平成14年度	122,209	114,278	236,487
平成15年度	122,338	115,893	238,231
平成16年度	123,899	117,743	241,642

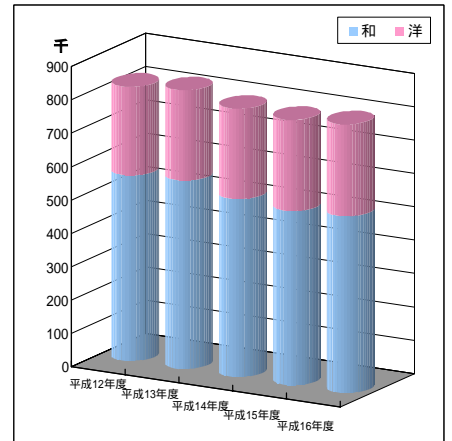
合計(図書)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成12年度	556,097	265,689	821,786
平成13年度	564,999	270,176	835,175
平成14年度	533,710	270,761	804,471
平成15年度	521,665	273,116	794,781
平成16年度	529,332	276,288	805,620



(平成16年度受入数 7,428冊)



(平成16年度受入数 3,411冊)

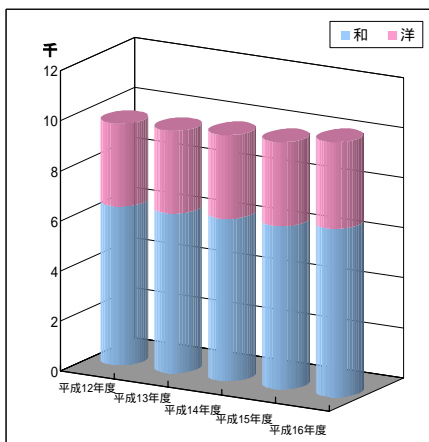


(平成16年度受入数 10,839冊)

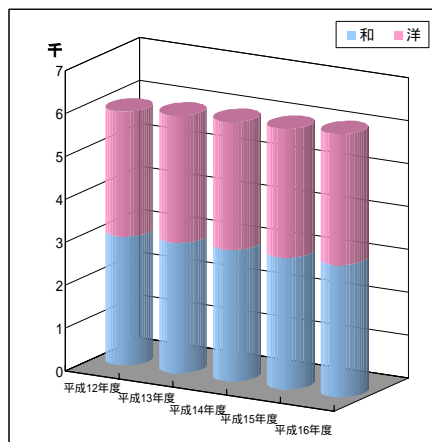
本館(雑誌)			
年度	和	洋	計
平成12年度	6,354	3,296	9,650
平成13年度	6,385	3,303	9,688
平成14年度	6,490	3,346	9,836
平成15年度	6,510	3,365	9,875
平成16年度	6,734	3,466	10,200

蔵本分館(雑誌)			
年度	和	洋	計
平成12年度	3,004	2,907	5,911
平成13年度	3,040	2,960	6,000
平成14年度	3,058	2,982	6,040
平成15年度	3,067	3,000	6,067
平成16年度	3,084	3,049	6,133

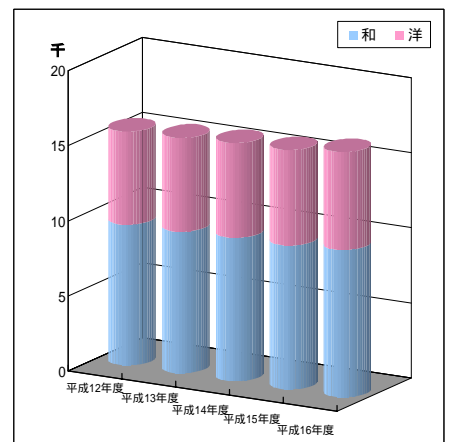
合計(雑誌)			
年度	和	洋	計
平成12年度	9,358	6,203	15,561
平成13年度	9,425	6,263	15,688
平成14年度	9,548	6,328	15,876
平成15年度	9,577	6,365	15,942
平成16年度	9,818	6,515	16,333



(平成16年度増加数 325種)  
(平成16年度受入数 3,898種)



(平成16年度増加数 66種)  
(平成16年度受入数 2,189種)



(平成16年度増加数 391種)  
(平成16年度受入数 6,087種)

コレクション

貴重資料

資料名	内容	数量
蜂須賀家家臣成立書並系図	旧徳島藩主蜂須賀家所蔵。 徳島藩士が蜂須賀家に仕官して以来の各家代々の家督相続者について、召出・相続・隠居・死亡の年月日、禄高、役職並びに系図・家紋などを書き上げ、天保5年(1834)及び文久元年(1861)の両度にわたり藩庁に提出したもので、貴重な徳島藩政史料である。	1,802点
古地図・絵図	江戸時代に作成された阿波国(徳島県)及び淡路国(兵庫県淡路島)をはじめ江戸・京都ほか諸国の古地図・絵図類を収集したものである。 特に郷土に関するものは、幕府撰国絵図(慶長・寛永後期・元禄の阿波国大絵図、寛永後期・元禄の淡路国絵図)がほぼ揃っており、郡図・村図には日本測量史上高い評価を得ている徳島藩測量方岡崎家による実測分間絵図が多数含まれている。また、伊能図は、伊能忠敬自筆の桐箱に収められた沿海地図、大日本沿海図稿、官板実測日本地図、豊後国沿海図の4種類がある。いずれも学術的・文化的価値の高いものである。	201点

個人文庫

文庫名	内容	数量
泉山文庫	郷土史家・島田麻寿吉氏(1874~1947、泉山は同氏の号)旧蔵の郷土資料及び和漢書	2,750点
布川文庫	徳島県板野郡土成町布川清二郎氏旧蔵の江戸時代天和期から寛政期に及ぶ医学書、昭和39年寄贈 蔵本分館所蔵	190点

## 郷土資料

資 料 名	内 容	数 量
徳 島 県 内 関 係 資 料	徳島県及び徳島県を含む四国についての印刷体資料のコレクション，本館所蔵	約 10,000 冊

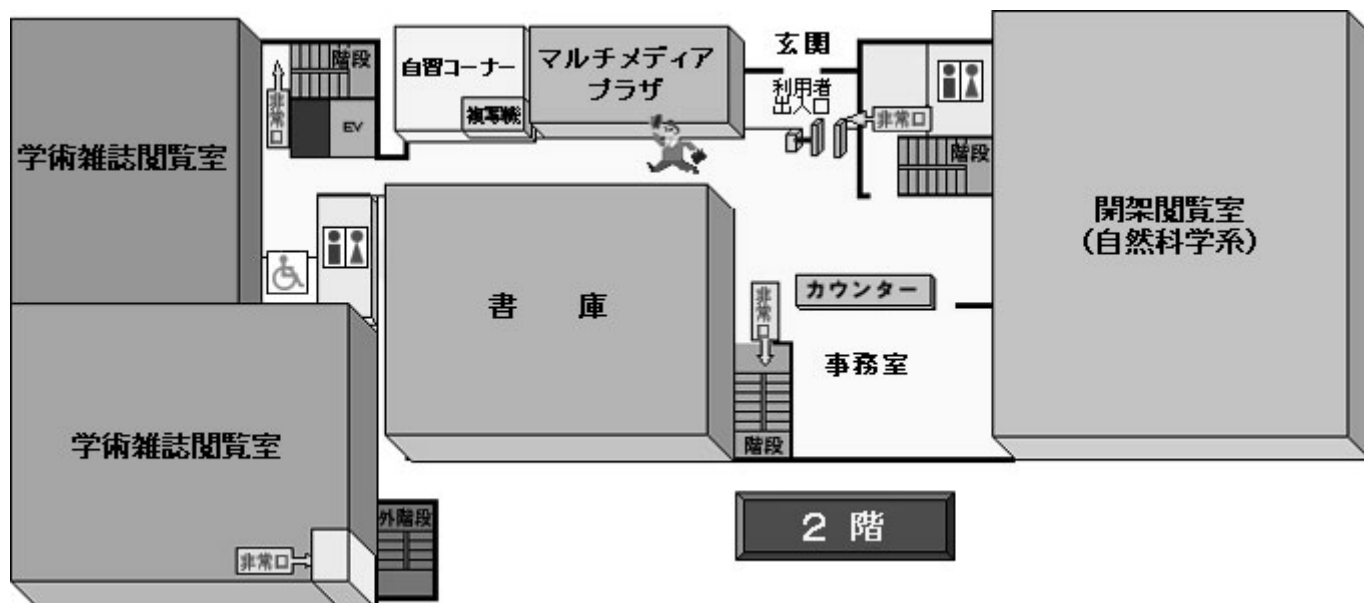
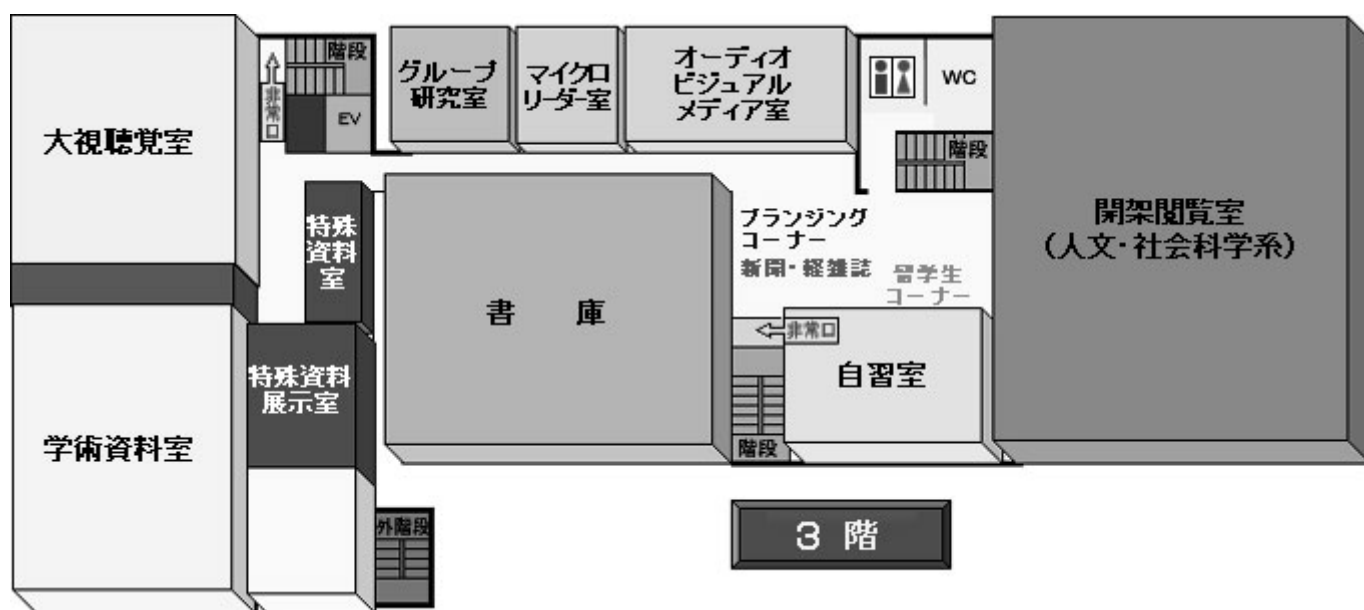
## 大型コレクション

資 料 名	内 容	数量・形態
府県統計書集成 (明治・大正・昭和戦前)	各都道府県の土地・人口・農業・産業教育等に関する統計の集大成 (昭和 59 年度)	1,140 リール マイクロフィルム
労働関係等学位論文集 Industrial Relations and Labor Management. (1942-1978)	アメリカの労働関係の学位論文集 (昭和 61 年度)	776 冊 リプリント
The Wall Street Journal & Index : Silver Format Eastern Ed. [1889-1987] Index [1955-1985]	世界経済を研究するための重要文献 (昭和 63 年度)	539 リール マイクロフィルム 31 点, 33 冊 索引・図書
空中写真 四国東部地域 建設省国土地理院 撮影年度 昭和 49 年～53 撮影縮尺 8 千分 1～1 万 5 千分 1	地形・建造物の立体視が可能であり地形・地質等の基礎資料で地理学・経済学等の広範な利用が可能 (平成 3 年度)	約 5,700 枚
静嘉堂文庫所蔵 古辞書集成	平安から明治初期の古辞書，考証・研究書の大集成 (平成 5 年度)	178 リール マイクロフィルム 原本 361 点 2,137 冊
[ランドルト=ベルンシュタイン数値表] Landolt-Bornstein Numerical data functional relationships in science & technology	物理・化学・天文・地球物理・工学にわたる広範囲な物理定数表 (平成 7 年度)	59 冊
ケミカル アブストラクト	第 12・13 期累積索引抄録 (平成 9 年度)	CD-ROM 12, 13 枚
ガレノス全集 Galen:Omnia quae extant opera. Llvos in7.1550-51	1550-51 年にヴェニスで刊行されたもので，本全集はガレノスの業績を集大成 (平成 11 年度)	全 7 巻

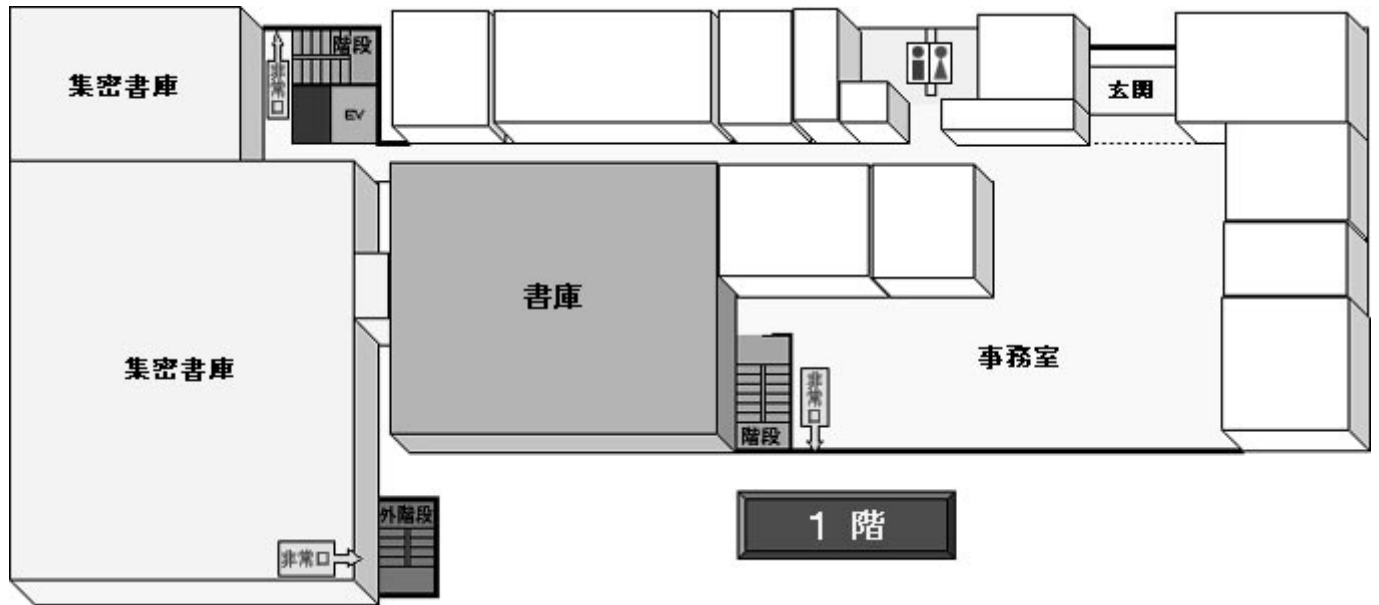
## 6. 施設・設備

### 館内図

#### 本館

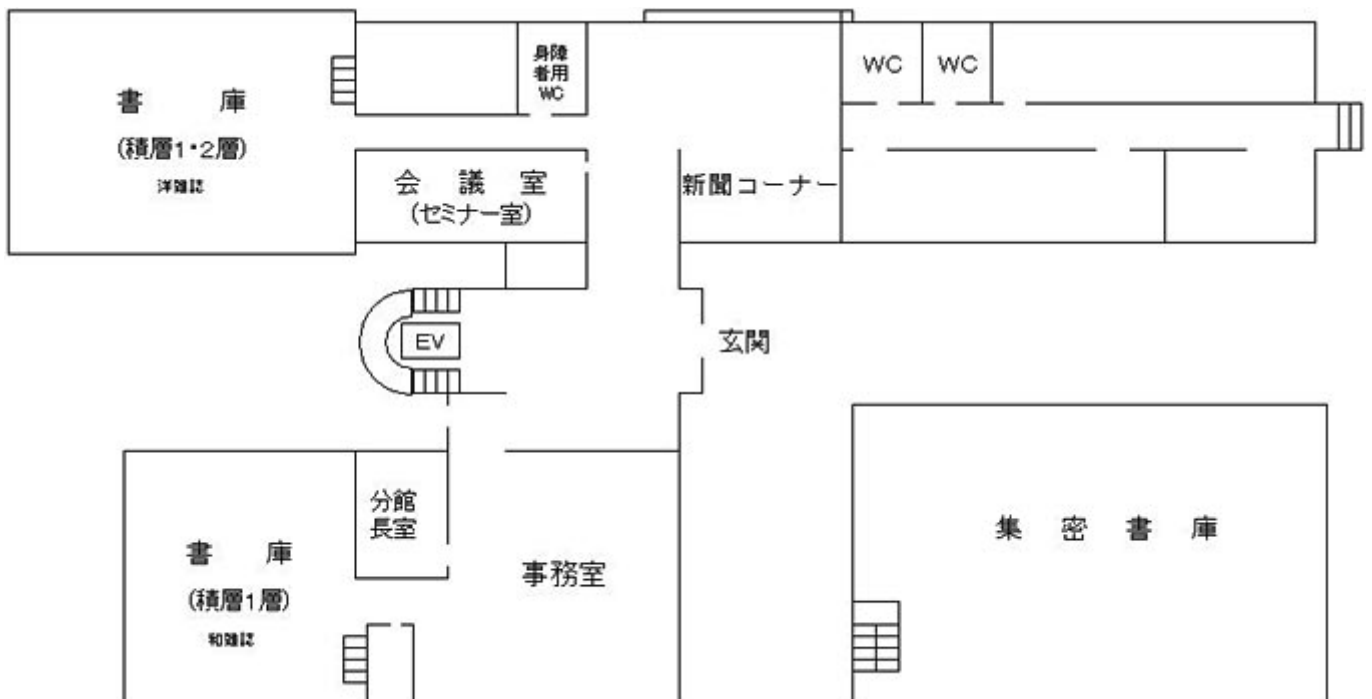




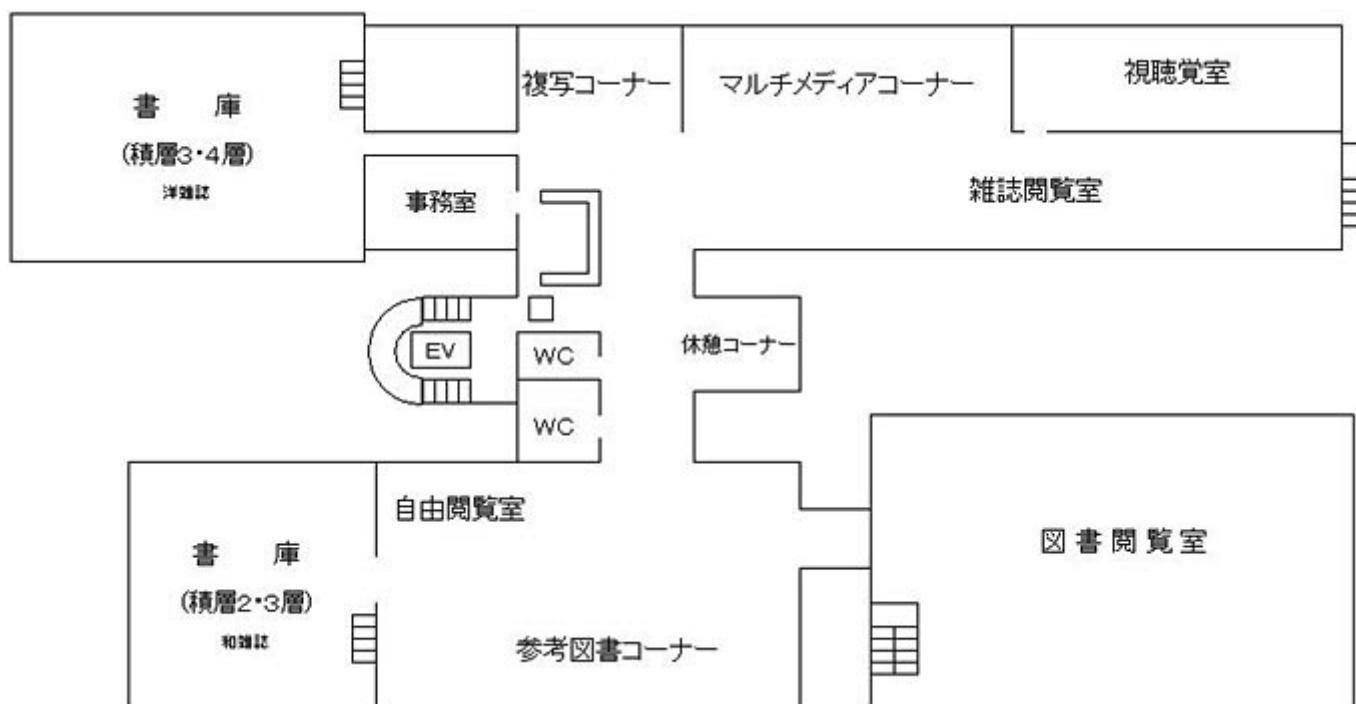


蔵本分館

1階



2階



施設面積 (㎡)

区 分	本 館	蔵 本 分 館	合 計
サービススペース			
閲覧スペース	1,811	897	2,708
視聴覚スペース	336	106	442
そ の 他	349	88	437
管理スペース			
書 庫	1,632	1,266	2,898
事務スペース	722	346	1,068
そ の 他	492	404	896
合 計	5,342	3,107	8,449

座席数

	本 館	蔵 本 分 館	合 計
閲覧座席数	501	319	820

## ・中期計画及び年度計画

### 1. 中期計画に係る平成16年度「年度計画」及び平成16年度事業計画

年 度 計 画	平 成 1 6 年 度 事 業 計 画	中 期 計 画 ( 達 成 年 度 )
<p>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>教育に必要な施設・設備, 図書館, 情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策</p> <p>中期計画コード: 1130204</p> <p>学習・教育活動を支援するため, オリエンテーション等を実施する。</p> <p>学習・教育活動を支援するため, 学生用図書の整備・充実に努める。</p> <p>学習・教育活動を支援するため, 利用環境の整備と館内アメニティの向上を図る。</p>	<p>A. 建物、施設・設備の整備</p> <p>1. 利用環境の整備と館内アメニティの改善</p> <p>2. 情報検索用パソコン等の IT 機器、ネットワーク利用環境の整備・充実</p> <p>B. 図書館資料の整備・充実</p> <p>1. 電子ジャーナル等の整備・充実</p> <p>2. 学生用図書の整備・充実</p> <p>3. 図書館資産台帳と現品の実査</p> <p>C. 利用者サービスの改善</p> <p>1. 開館日・開館時間の拡大</p> <p>2. 図書館案内ツアー等各種ガイダンスの実施</p> <p>3. 本館・分館間のデリバリーサービス</p> <p>4. 館内サインの更新・充実</p> <p>5. 学内関連組織との連携</p> <p>6. 広報活動の整備</p> <p>7. サービスカウンター等応接マニュアルの整備</p>	<p>・学生用図書の整備・充実及び利用環境の整備に努める。 (平成16～21年度)</p> <p>・電子ジャーナル等の整備・充実に努める。(平成16～21年度)</p> <p>・図書館利用案内とオンライン目録利用などオリエンテーションの実施に努める。(平成16年度)</p> <p>・高度情報化基盤センター及び全学共通教育センターと連携し, 図書館利用に関する情報教育の検討を行う。(平成18年度)</p> <p>・図書館利用法, 学術情報検索法等について, 全学共通教育等と連携・協力し, 図書館利用に関する情報教育を実施する。(平成19年度)</p>
<p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</p> <p>研究に必要な設備等の活用・整備に関する具体的方策</p> <p>1220304</p> <p>電子図書館的機能の充実に努めるため, 電子ジャーナル等の整備・充実に努める。</p> <p>電子図書館的機能の充実に努めるため, 所蔵資料の遡及入力を実施する。</p>	<p>D. 電子図書館的機能の充実</p> <p>1. 電子ジャーナル等の整備・充実 (再掲)</p> <p>2. 情報検索用パソコン等の IT 機器、ネットワーク利用環境の整備・充実 (再掲)</p> <p>3. 次期図書館電子計算機システムに向けての準備</p> <p>4. ポータル機能の整備・充実</p> <p>5. 所蔵資料の遡及入力(5年次)</p>	<p>・電子ジャーナル等の整備・充実に努める。(再掲) (平成16～21年度)</p> <p>・遡及入力(目録所在情報の電子化)事業の実施(10年計画) (平成16～21年度)</p> <p>・デジタルコンテンツの作成について実施方策を検討する。 (平成19～21年度)</p>
<p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標を達成するための措置</p> <p>地域社会等との連携・協力, 社会サービス</p>	<p>E. 学外他機関との連携</p> <p>1. 県内公共図書館との蔵書目録のネットワーク化の検討</p> <p>2. 国会図書館等実験事業(レファレン</p>	<p>地域住民への図書館サービスの促進に努める。</p> <p>・図書館の他機関との相互協力</p> <p>・県内公共図書館との所蔵目録情報</p>

<p>等に係る具体的方策</p> <p>1310104</p> <p>地域住民への図書館サービスを推進するため、学外者への図書貸出サービスを学生並に貸出期間を延長する。</p> <p>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 運営体制の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>学部長等を中心とした機動的・戦略的な学部等運営に関する具体的方策</p> <p>管理運営の効率化を図るため、館長、分館長体制を堅持する。</p> <p>2100301</p> <p>附属図書館運営委員会及び職員の負担を軽減するため、議題等を事前に精査し開催回数の縮減、会議時間の短縮など会議の効率化、迅速化を推進する。</p> <p>2100302</p> <p>3 教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置</p> <p>事務職員等の採用・養成・人事交流に関する具体的方策</p> <p>職員の実務に関する基礎的・専門的な知識の習得を図るため、学内外の研修に積極的に参加させる。また、館内においては、新任職員や新たに他の部局から図書館職員となった者を対象に研修を実施する。 2300503</p> <p>財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置</p>	<p>データベース構築)に参加</p> <p>F. その他</p> <p>1. 地域住民へのサービス向上</p> <p>2. 管理・運営の効率化</p> <p>3. 職員の研修強化</p>	<p>のネットワーク化</p> <p>(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への図書館サービス(本館)</li> <li>学外者へのサービスを学生並に向上</li> <li>・貸出期間の延長(8日から14日)</li> <li>(平成16年度)</li> <li>・貸出冊数の増加(3冊から5冊)</li> <li>(平成18年度)</li> </ul> <p>・附属図書館の管理運営の効率化を図るため、館長、分館長体制を堅持する。(平成16～21年度)</p> <p>・附属図書館運営委員会の審議事項を精選し、開催回数・所要時間等の短縮に努め、委員及び職員の負担の軽減を図る。(平成16～21年度)</p> <p>・教育研究支援、管理などの専門的事項に関する学内外における研修に積極的に参加させる。また、館内における研修を実施する。</p> <p>(平成16～21年度)</p>
--	--	--

<p>管理的経費の抑制に関する具体的方策</p> <p>管理業務に係る経費を抑制するため、本館、蔵本分館で共通に必要なものは、まとめ買いをするなどして経費の削減に努める。 3200101</p> <p>エネルギー使用量を削減するため、図書館管理部門における省エネに努めるとともに、閲覧室等においては、省エネの啓発に努め、利用者の協力を得る努力を行う。 3200102</p> <p>自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置</p> <p>大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策</p> <p>広報活動を強化するため、図書館広報誌の在り方また内容・配布方法等について検討する。また図書館ホームページの内容等の見直しを行う。 4200101</p> <p>その他業務運営に関する重要目的を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 安全管理に関する目標を達成するための措置</p> <p>安全管理体制の強化，防災・防犯体制の強化等に関する具体的方策</p> <p>防災体制を充実するため、本館・蔵本分館各地区における防災マニュアル及び消防計画の作成を検討する。</p> <p>5200104</p> <p>時間外開館における防犯体制の強化を図るため、緊急連絡体制の見直しを行う。 5200105</p>	<p>4．経費の削減及びエネルギー消費量の削減</p> <p>5．広報活動の整備（再掲）</p> <p>6．安全管理体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理業務に係る経費は全般的に見直しを図り、第1期中期計画の期間中、毎事業年度につき、1%の経費を削減する。（平成16～21年度）</li> <li>・管理部門におけるエネルギー使用量の削減目標・手法を設定し、エネルギー消費量の削減に努める。（平成16～21年度）</li> <li>・閲覧室等におけるエネルギー使用量の削減目標・手法を設定し、エネルギー消費量の削減に努める。（平成16～21年度）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌、ホームページ等について、社会のニーズに適応した内容に整備し、図書館利用者に対し積極的な情報発信を行う。（平成16～21年度）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・防火体制を充実する。（平成16～21年度）</li> <li>・防犯体制を充実する。（平成16～21年度）</li> </ul>
---	---	---

## 2. 平成16年度「年度計画」の年度終了時の評価

年 度 計 画	評 価
中期計画コード：1130204 学習・教育活動を支援するため、オリエンテーション等を実施する。 学習・教育活動を支援するため、学生用図書整備・充実に努める。 学習・教育活動を支援するため、利用環境の整備と館内アメニティの向上を図る。	
1220304 電子図書館的機能の充実に図るため、電子ジャーナル等の整備・充実に努める。 電子図書館的機能の充実に図るため、所蔵資料の遡及入力を実施する。	
1310104 地域住民への図書館サービスを推進するため、学外者への図書貸出サービスを学生並に貸出期間を延長する。	
2100301 管理運営の効率化を図るため、館長、分館長体制を堅持する。	
2100302 附属図書館運営委員会及び職員の負担を軽減するため、議題等を事前に精査し、開催回数の縮減、会議時間の短縮など会議の効率化、迅速化を推進する。	
2300503 職員の実務に関する基礎的・専門的な知識の習得を図るため、学内外の研修に積極的に参加させる。また、館内においては、新任職員や新たに他の部局から図書館職員となった者を対象に研修を実施する。	
3200101 管理業務に係る経費を抑制するため、本館、蔵本分館で共通に必要なものは、まとめ買いをするなどして経費の削減に努める。	
3200102 エネルギー使用量を削減するため、図書館管理部門における省エネに努めるとともに、閲覧室等においては、省エネの啓発に努め、利用者の協力を得る努力を行う。	
4200101 広報活動を強化するため、図書館広報誌の在り方また内容・配布方法等について検討する。また図書館ホームページの内容等の見直しを行う。	
5200104 防災体制を充実するため、本館・蔵本分館各地区における防災マニュアル及び消防計画の作成を検討する。	
5200105 時間外開館における防犯体制の強化を図るため、緊急連絡体制の見直しを行う。	

備考： 評価は、達成水準4段階評価（ ， ， ， ）(平成16年11月改訂)で実施

## ・活動状況

### 1. 一年の主な出来事

---

平成16年	4月	中期計画等に係る平成16年度附属図書館「年度計画」及び事業計画作成 新入生オリエンテーション・OPAC検索説明会・情報検索入門説明会 本館・蔵本分館間デリバリーサービス(文献複写物)開始 一般利用者に対して貸出期間の延長開始(本館8日 14日、蔵本分館8日 10日) 蔵本分館運営委員会(第1回) 蔵本分館外国雑誌書庫資料の再配置(~3月) 所蔵資料の遡及入力事業(10年計画の5年次)開始(~3月)
	5月	附属図書館初任者等研修 本館書庫資料の再配置(書架増設等)(~3月)
	6月	「時間外特別利用設備」の利用対象者を学部学生にも適用開始(蔵本分館) 平成17年度雑誌購読調査の実施 データベース説明会(Web of knowledge)(図書館職員対象) 常三島地区運営委員会(第1回)(本館会議室) 蔵本分館運営委員会(第2回)(蔵本分館会議室) 附属図書館運営委員会(第1回)(本館会議室) 附属図書館図書選定委員会(第1回)(本館会議室) 共通教育図書選定打合せ 平成17年度概算要求書提出(教育研究高度化設備費・教育改革経費) 法人化に伴う附属図書館諸規程等の改廃等見直し作業開始(~3月) 台風6号による臨時休館(以降10月の台風23号まで合計7回臨時休館)
	7月	試験期間中の祝日開館実施(7月、9月、2月) 蔵本地区図書選定委員会(第1回)(メール会議) 広報検討ワーキング(第1・2回) 図書館システムワーキング(第1回) 山西家文書の燻蒸(徳島市立徳島城博物館にて) データベース等説明会(SciFinder Scholar)(本館・蔵本分館) 携帯電話版OPACの運用開始
	8月	ジャーナル等の諸問題についての意見交換会(本館会議室) 図書館資産台帳と現品の実査(本館・蔵本分館) 本館マイクロリーダー室の整備(~9月)
	9月	附属図書館研修会等報告会(第1回) 附属図書館時間外開館要員との懇談会

- 10月 自己点検・評価専門委員会(第1回)(本館会議室)  
 中期計画等に係る平成16年度附属図書館「年度計画」の中間評価(10月期)  
 附属図書館図書選定委員会(第2回)(本館会議室)  
 附属図書館運営委員会(第2回)(蔵本分館会議室)  
 蔵本分館運営委員会(第3回)(蔵本分館会議室)  
 附属図書館長選考規則改正(事務局)  
 附属図書館消防計画を制定、徳島市東消防署及び西消防署に届出  
 職員名札着用開始  
 次期図書館システム更新は高度情報基盤センターと同時期に決定  
 電子ジャーナル講習会(初・中上級)(Science Direct)(本館)
- 11月 館内サインの更新等(書棚の配架案内)  
 附属図書館への提言募集(読書週間に併せて)  
 平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)申請  
 「学術雑誌(電子ジャーナル・データベースを含む)の整備方策」の基本的な  
 考え方等をまとめ、部局長会議で報告
- 12月 国会図書館等実験事業(レファレンスデータベース構築)に参加登録  
 データベース等説明会(医中誌 Web、PubMed 他)(蔵本分館)  
 平成16年度学長裁量経費の追加申請  
 附属図書館事務組織見直し検討ワーキング(第1・2回)  
 身体障害者用設備の整備(手摺り等)  
 附属図書館広報検討ワーキング(第3回)  
 附属図書館研修会等報告会(第2回)  
 消防訓練(本館)  
 「時間外特別利用設備」の利用を年末年始期間中にも適用開始
- 平成17年 1月 附属図書館事務組織見直し検討ワーキング(第3・4回)  
 附属図書館広報検討ワーキング(第4回)  
 附属図書館事務分掌細則改正  
 中期計画等に係る平成16年度附属図書館「年度計画」の中間評価(1月期)  
 平成16年度学長裁量経費追加申請配分決定(蔵本分館空調設備費)  
 平成17年度学長裁量経費申請  
 平成17年度予算単位別予算配分額内示(部局長会議)
- 2月 附属図書館運営委員会(第3回)(本館会議室)  
 附属図書館報 メールマガジン「すだち」第1号発刊(印刷版図書館報廃止)  
 第16回附属図書館学術講演会(本館大視聴覚室)  
 平成16年度徳島県大学図書館協会研修会(本館会議室)  
 附属図書館事務組織見直し検討ワーキング(第5回)



附属図書館研修会等報告会(第3回)  
平成17年度学長裁量経費配分決定(蔵本分館空調設備費)  
サービスカウンター等応接マニュアル作成(防犯等対策マニュアル含む)  
県内公共図書館とのOPACのネットワーク化に本学の参加了承(県立図書館)  
3月 平成16年度徳島県大学図書館協会総会(本館会議室)  
平成17年度予算単位別予算配分額決定(教育研究評議会)  
全学共通教育「大学入門学」に関する「図書館案内ビデオ」等の評価  
附属図書館報 メールマガジン「すだち」第2号発行  
中期計画等に係る平成17年度附属図書館「年度計画」及び事業計画作成  
中期計画等に係る平成16年度附属図書館「年度計画」の最終評価  
附属図書館運営委員会(第4回)(蔵本分館会議室)  
法人化に伴う附属図書館諸規程等の改廃等実施  
データベースのトライアル(Web of Science、Scopus)  
館内サインの更新等(総合案内図・フロアマップ・各部屋の名称表示板)  
本館東側外壁修繕完了(台風被害)  
空調設備更新(蔵本分館の一部分)  
カウンター部分と雑誌閲覧室との遮断シャッター取付完了(蔵本分館)  
消防訓練実施(蔵本分館)  
「附属図書館ホームページ」リニューアル

---

事業のスナップ写真



図書館案内ツアー  
(本館・自動貸出機の取扱い説明)(4月)



読書週間行事「図書館への提言」館長賞を  
受ける学生(館長室)(11月)



消防訓練(本館・1階書庫)(12月)



身体障害者用設備の整備(本館・階段)(12月)



第16回附属図書館学術講演会  
(本館・大視聴覚室)(2月)



館内サイン更新(本館・開架閲覧室)(3月)

## 2. 建物、施設・設備の整備

### (1) 利用環境の整備と館内アメニティの改善(中期計画コード:1130204)

利用環境の整備は、図書館の中期計画の三本柱( 学生用図書整備充実及び利用環境の整備 電子図書館的機能の充実 地域社会に根ざした大学図書館(地域貢献))の一つとなっているが、本館は増改修工事が早くても平成20年度以降となるため、その間経費を勘案し可能な限り改善に努めている。平成16年度は下記の事業を実施した。

#### 【本館】

図書館窓全体の清掃を実施した。(6月)

松葉杖を使用する利用者等、歩行が不自由な者が館内を移動しやすいように、廊下・階段に手すりを設置した。(12月)(写真:21ページ)

マイクロリーダー室を利用しやすくするために、マイクロフィルム保管庫を整理し、表示ラベルを新しいものにした(9月)。利用促進を図るため、一覧表を作成してホームページに掲載した(3月)

書庫資料の再配置、照明の増設、書架棚板の増設を行った。(～3月)

台風被害による附属図書館東側外壁修繕工事(3月)

#### 【蔵本分館】

図書館窓全体の清掃を実施した。(6月)

エレベータで車椅子が利用できるようにするための経費の見積もりを行ったが、相当の経費を要することから、次年度以降に予算要求を行うこととした。

書庫資料(外国語雑誌)の再配置を行った。(～3月)

無人開館用設備の設置と併せて、冷暖房機器の更新、自動貸出機の更新要求を17年度概算で要求した(不採択)。なお、16年度学長裁量経費追加申請で400万円の冷暖房機器更新が採択され、2階の一部のみ更新した。(3月)

### (2) 情報検索用パソコン等のIT機器、ネットワーク利用環境の整備・充実

(中期計画コード:1130204)

平成18年2月が図書館システムの更新予定であったが、平成19年2月予定の高度情報化基盤センターとシステムの調達をあわせることにより、より効果的なシステム更新を行うこととした。なお、故障の多かった蔵本分館の情報検索用パソコン2台を更新した。

○利用者用パソコンの設置台数(平成17年3月31日現在)

	本館	蔵本分館	合計
高情センター教育用パソコン	26台	18台	44台
OPAC専用パソコン	1台	2台	3台
CD-ROM検索専用パソコン	2台	1台	3台
高精細画像閲覧用端末	1台	0台	1台
合計	30台	21台	51台

### 3. 資料の整備

#### (1) 学生用図書の整備・充実(中期計画コード:1130204)

学生用図書の整備・充実について、下記委員会等を開催し、図書経費の確保及び選定方法等について検討し整備・充実を図った。

##### 委員会等

6月22日 第1回附属図書館常三島地区運営委員会の開催  
・図書選定方針の変更等

6月29日 第1回附属図書館運営委員会の開催  
第1回附属図書館図書選定委員会の開催  
・平成16年度の配分額、選定方法を確認

7月 2日 共通教育図書選定打合せ

7月20日 第1回蔵本地区図書選定委員会の開催  
・平成16年度の配分額、選定方法を確認

10月12日 第2回附属図書館図書選定委員会の開催

##### 経費(万円)等

平成16年度学生用図書経費配分額 約2,543万円(平成15年度より250万円多い配分額を確保)

(内750万円については雑誌購読料と製本料)

内訳	直接配分	附属図書館本館	756万円
		附属図書館蔵本分館	522万円
		計	1,278万円
学内振替分		附属図書館本館	722万円
		附属図書館蔵本分館	543万円
		計	1,265万円

##### 平成16年度

		学生(院含む)一人当たり
蔵書冊数	794,781冊	102冊
年間購入図書	6,648冊	0.86冊
年間購入学生用図書	5,360冊	0.69冊
学生用図書費	1,793万円	2,309円
学生希望図書 内訳：希望 219冊(本館198冊，蔵本分館21冊) 購入 185冊(購入率100%) 入手不可能(絶版等)図書を除く		

(2) 電子ジャーナル等の整備・充実(中期計画コード:1130204)

電子ジャーナル等の整備・充実について、下記委員会等を開催し整備・充実を図った。今後経費削減が進むことから、「学術雑誌(電子ジャーナル・データベースを含む)の整備方策について」(別紙)の基本的な考え方をまとめ、部局長会議等で理解を求めた。

委員会等

- 4月27日 第1回蔵本分館運営委員会の開催
  - ・コア・ジャーナルの見直しを検討
- 6月22日 第1回附属図書館常三島地区運営委員会の開催
  - ・コア・ジャーナルの見直しを検討
- 6月23日 第2回蔵本分館運営委員会
  - ・蔵本地区では電子ジャーナルのアンケート,利用統計調査を併せて実施。
- 6月29日 第1回附属図書館運営委員会の開催
  - ・コア・ジャーナルの見直しを審議
- 7月 平成17年度雑誌購読調査の実施
- 8月9日 「ジャーナル等の諸問題についての意見交換会」開催
  - ・コア・ジャーナルと電子ジャーナル購読の現状と方向性を確認
- 8月 電子ジャーナルオンリーの契約,コンソーシアム参加の可能性について料金調査
- 9月 外国雑誌の見積合わせ。意見交換会,電子ジャーナル料金等調査を踏まえて,平成17年度(2005年)のジャーナル等の選定(契約)手順,学術雑誌の整備方策をまとめる。
- 10月26日 第2回附属図書館運営委員会の開催
  - ・「学術雑誌(電子ジャーナル・データベースを含む)の整備方策について」の基本的な考え方について報告。
- 11月16日 部局長会議で附属図書館長より「学術雑誌(電子ジャーナル・データベースを含む)の整備方策について」説明。
- 12月 JCRをWEB版に変更
- 1月 平成17年度概算要求(事務局提出)で新規データベースが予算措置される。
- 3月 新規データベース(Web of Science 又は Scopus)の導入に向けてトライアル

経費(万円)等

平成16年度コア・ジャーナル経費配分額	10,493万円
内訳	
附属図書館本館	2,619万円
附属図書館蔵本分館	7,874万円
平成16年度電子ジャーナル等導入経費配分額(平成15年度より250万円多い配分額を確保)	
計	2,477万円

学術雑誌(電子ジャーナル・データベースを含む)の  
整備方策について

第2回附属図書館運営委員会  
平成16年10月26日

《基本的な考え方》

1. 予算関係

(1) 学術雑誌購入費

学術研究を支えるためには、安定財源の確保は必須である。そのため学術雑誌購入費(コア・ジャーナル経費)については、徳島大学第 期基本計画の期間中(H16~H21年度:2004~2009年)は、平成17年度(2005年)を上限金額で固定化し、大学の方針に併せて毎年1%削減する。

(2) 電子ジャーナル導入経費及びデータベース利用料

平成17年度以降、平成15・16年度と同様、電子ジャーナル導入経費及びデータベース利用料は共通的な経費として引き続き確保する。

2. コア・ジャーナル制度の継続

コア・ジャーナル制度の在り方については、常三島地区・蔵本地区の両地区で継続あるいは廃止の方向とそれぞれ意見があるが、この制度に替わる有力な方策はない。むしろコア・ジャーナル制度を継続することによって、コンソーシアム参加が維持され、閲覧可能雑誌のタイトルは増加する。従って、引き続きコア・ジャーナル制度は継続する。

《平成17年度(2005年)以降について》

1. 学術雑誌の電子ジャーナル化

平成17年度(2005年)は、電子ジャーナルのメリットを生かして、コア・ジャーナルは冊子体から電子ジャーナルへと順次移行を図る。

平成18年度(2006年)以降は、コア・ジャーナルは電子ジャーナルのみとする。

2. コンソーシアム参加(電子ジャーナル導入経費の充当)について

電子ジャーナル導入にあたって、コンソーシアムへの参加は、ACS、Science、Natureを優先する。

Science Direct、Wiley、SpringerLINK、Kluwer等は、経費的にコンソーシアム参加が維持できなければ取り止め、その経費を重要な電子ジャーナル購読に充てる方向で該当誌名を協議する。

以上

(3) 図書館資産台帳と現品の実査 (中期計画コード: 1130204)

図書館の蔵書について、資産台帳と現品の実査を行った。

本館

- ・ 期間 8月16日～20日 3階閲覧室の図書約3万5千冊
- ・ 実施結果
 

正しく配架	34,859冊
除籍等の資料発見	24冊
配架場所誤り等	202冊
不明	68冊

除籍資料の発見分は再登録し、配架場所誤りの図書は正しい場所に配架した。

- ・ 特別貸出図書(約17万冊)については、貸出中の教員に依頼し照合点検を実施。

蔵本分館

- ・ 期間 8月2日～6日 2階図書閲覧室と参考図書コーナーの図書約2万8千冊
- ・ 実施結果
 

正しく配架	20,205冊
除籍・貸出中資料等発見	200冊
配架場所誤り等	276冊
不明資料	275冊

その後の調査で、不明資料は103冊、

配架場所誤りの図書は正しい場所に配架した。

経費(万円)等(人員含む)

期間中の実査については、職員及び学生バイト1日2名×2館で実施。

内訳2(名)×8(1日あたり時間)×5(日)×2館(蔵本分館1名は1日6時間)

(4) 蔵書数と年間受入図書数

年度	蔵書数			年間受入図書数(製本雑誌を含む)		
	本館	蔵本分館	計	本館	蔵本分館	計
平成14年度 (H15.3.31)	567,984	236,487	804,471	7,687	4,855	12,542
平成15年度 (H16.3.31)	556,550	238,231	794,781	7,214	3,520	10,734
平成16年度 (H17.3.31)	563,978	241,642	805,620	7,428	3,411	10,839

\*雑誌を除く、単位:冊

#### 4. 利用者へのサービス

##### (1) 利用者サービスの改善(中期計画コード:1130204)

利用者サービスの改善として、開館日・開館時間の拡大、本館・分館間のデリバリーサービス、館内サインの更新・充実、学内関連組織との連携( .6(2) )、広報活動の整備( .5(2) )、サービスカウンター等応接マニュアルの整備等に取り組んだ。利用者の意見等を聴く試みとして、読書週間(10月27日~11月9日)に因み、「附属図書館への提言」の募集を行った。31名の学生(院生含む)から、学部生への24時間開館、グループ学習室・個室の設置、喫茶・飲食・休憩スペースの確保、新刊書等図書館資料の充実他多くの提言が寄せられた。選考の結果、二名に館長賞・分館長賞を贈呈した。(写真:21ページ)

##### 1) 開館日・開館時間の拡大

試験期間中の祝日開館の実施

7月19日 本館:入館者603人 蔵本分館:入館者360人 9月20日 蔵本分館:入館者341人  
9月23日 蔵本分館:入館者220人 2月11日 蔵本分館:入館者504人(注:時間外特別利用者は除く)

時間外特別利用設備による開館日・開館時間の拡大(試行)

蔵本分館:6月1日試行開始、学部学生にも適用、24時までの利用、登録者:664人、利用者:9,201人(1日:32人)

・年末・年始期間中(12/28~1/4)の試行

利用者:教職員13人、大学院生29人、学部学生398人

本館:試行に向けて検討

##### 2) 本館・分館間のデリバリーサービス

私費複写サービスの配送サービス実施(4月~)

図書貸出・返却サービス

実施に向けて検討した結果、次年度に図書館システムのバージョンアップに併せて実施できる見込みとなった。

##### 3) 館内サインの更新・充実

###### 【本館】

建物案内として、1階玄関に「徳島大学附属図書館」の表札を掲げ(7月)、2階南側・北側窓2ヶ所に「附属図書館」の表示をした。(1月)

各閲覧室及び書棚の配架案内を見直して更新した。(11月)

各部屋への案内として、玄関にフロアマップ、2階・3階に総合案内図、2階廊下に部屋への案内表示をした。また、各部屋の入り口に日本語・英語・中国語の部屋名を併記した「表示板」を吊るした。(3月)(写真:21ページ)

##### 4) サービスカウンター等応接マニュアルの整備

10月から図書館職員の名札着用を開始するとともに、サービスカウンターの職員



だけでなく、図書館職員全員が窓口職員であるという認識で、利用者に対する応接マニュアルを作成した。(2月)(緊急事態対応含む)本館ではカウンターと事務室の間にあった書架を低書架に入れ替え、カウンターと事務室の連携を強化した。

(2) 資料提供サービス

1) 閲覧

開館日・開館時間

区 分	開館時間(授業期間)	
	平 日	土・日
本 館	9:00-21:00	10:00-16:00
蔵本分館	9:00-21:00	10:00-16:00
備 考	24時間開館実施 試験期間中は23時まで開館 試験期間中の祝日開館実施	

開館状況

平成16年度は台風が多く来襲し、このうち7回が開館に影響を及ぼした。臨時休館は全日休館5日などを含め、閉館時間は延べ59時間であった。

・年間総開館日数及び開館時間数(休日には、土曜日を含む。)

摘要 年度	年間開館		うち休日開館		休日開館割合(%)	
	日数	時間数	日数	時間数	日数	時間数
14年度	327	3,268	85	510	25.99	15.61
15年度	329	3,297	85	510	25.84	15.47
16年度	326	3,235	89	534	27.30	16.51

・時間外開館日数及び開館時間数(土・日・休日を含む。)

摘要 年度	年間開館		うち時間外開館		時間外開館の割合(%)	
	日数	時間数	日数	時間数	日数	時間数
14年度	327	3,268	287	1,392	87.77	42.59
15年度	329	3,297	291	1,402	88.45	42.52
16年度	326	3,235	291	1,407	89.26	43.49

2) 貸出

貸出条件

	冊 数	期 間
学内者	5冊以内	14日以内
学外者	3冊以内	14日以内

貸出人数・冊数

年度	館名	教職員		学 生		学 外 者		合 計	
		人 数	冊 数	人 数	冊 数	人 数	冊 数	人 数	冊 数
14年度	本	1,972	9,110	22,560	45,642	450	938	24,982	55,690
	分	1,167	4,383	10,870	19,576	281	584	12,318	24,543
15年度	本	1,951	7,420	19,906	39,846	526	1,091	22,383	48,357
	分	1,065	3,286	11,096	19,964	219	471	12,380	23,721
16年度	本	1,762	5,574	18,851	37,865	570	1,208	21,183	44,647
	分	808	2,323	10,463	19,117	331	752	11,602	22,192

入館者数

年度	本館・ 蔵本分館	教職員	学 生	学外者	合 計
14年度	本 館	8,057	202,263	6,482	216,802
	蔵本分館	16,603	119,712	6,556	142,871
15年度	本 館	5,465	176,817	7,689	189,971
	蔵本分館	13,471	108,180	7,685	129,336
16年度	本 館	5,220	171,186	11,159	187,565
	蔵本分館	9,444	117,676	7,519	134,639

利用対象者数

適用 年度	学 生			教 職 員	合 計	学外登録者	
	学部学生等	大学院生	その他			本 館	蔵本分館
16年度	人	人	人	人	人	人	人
	6,095	1,669	193	3,409	11,366	769	713

注) 学部学生に医短(20人)含む。学生その他は専攻生、研究生、聴講生をサービス対象としている。教職員は非常勤講師含む。

(3) 情報提供サービス

1) 参考調査

レファレンス・サービス (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	2,851	7,236	10,087
平成 15 年度	2,564	6,381	8,945
平成 16 年度	2,748	6,535	9,283

文献複写 (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	12,999	76,654	89,653
平成 15 年度	11,501	67,364	78,865
平成 16 年度	9,534	27,233	36,767

2) 図書館間相互利用

文献複写

依頼 (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	2,323	4,830	7,153
平成 15 年度	2,662	4,115	6,777
平成 16 年度	2,385	3,864	6,249

受付 (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	2,743	6,357	9,100
平成 15 年度	3,061	5,375	8,436
平成 16 年度	2,167	4,980	7,147

現物貸借

依頼 (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	228	15	243
平成 15 年度	194	10	204
平成 16 年度	308	6	314

受付 (件)

区 分	本 館	蔵本分館	合 計
平成 14 年度	614	34	648
平成 15 年度	713	30	743
平成 16 年度	678	56	734

(4) 電子図書館サービス(中期計画コード:1220304)

電子図書館的機能の充実において平成16年度の事業では、電子ジャーナル等の整備・充実(.3(2))、情報検索用パソコン等のIT機器、ネットワーク利用環境の整備・充実(.2(2))、次期図書館電子計算機システムに向けて(.2(2))、ポータル機能の整備・充実及び所蔵資料の遡及入力を実施した。

ポータル機能の整備・充実

- ・有用な電子的情報資料の充実について広報検討WGで検討し、リニューアルするホームページで充実した。(3月)

- ・検索機能の追加(4月 雑誌名での検索が可能)

- ・携帯電話版OPACの運用(7月)

アクセス状況:7月281件,8月285件,9月279件,10月190件,11月434件,  
12月763件,1月291件,2月283件,3月208件

- ・国会図書館等実験事業(レファレンスデータベース構築)に参加登録(12月)  
(.6(2))

- ・ホームページの見直し(.5(2))

遡及入力の実施(4~3月)

1) デジタルコンテンツ

平成10年度 採択 国絵図類高精度画像データベース 7,120,000円

平成11年度 採択 国絵図類高精度画像データベース 7,830,000円

平成12年度 不採択 国絵図類高精度画像データベース

平成13年度 不採択 阿波藩蜂須賀家家臣団成立書并系図データベース

平成14年度 不採択 近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベース

平成15年度 不採択 近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベース

平成16年度 不採択 近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベース

平成17年度 申請 近世大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベース

2) データベース

利用データベース名

MAGAZINEPLUS、医中誌web、EconLit、MathSciNet、ERIC、SciFinderScholar、JCR(web版)、聞蔵(朝日新聞全文記事検索)、PubMed

利用件数

データベース名	統計対象	2004									
		Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	
MAGAZINEPLUS	検索数	355	935	862	1,061	895	880	1,523	1,427	1,057	
医中誌 web	ログイン数	1,176	1,205	1,250	959	990	1,173	1,165	1,190	954	
EconLit	検索数	27	52	16	23	28	35	34	51	19	
MathSciNet	検索数	296	341	138	148	222	362	628	338	776	
ERIC	検索数	13	26	15	47	4	19	6	24	17	
SciFinderScholar	ログイン数	2,087	1,908	2,146	2,122	1,535	2,024	2,109	2,170	1,798	
Total		3,954	4,467	4,427	4,360	3,674	4,493	5,465	5,200	4,621	

2005			Total
Jan	Feb	Mar	
942	605	453	10,995
843	1,009	1,036	12,950
7	6	8	306
338	255	440	4,282
0	0	3	174
2,018	1,471	1,242	22,630
4,148	3,346	3,182	51,337

3) 電子ジャーナル

利用可能タイトル 3,028 誌(無料タイトル含む)(外国雑誌 2,963 誌、国内雑誌 65 誌)

利用件数

出版社	タイトル数	2004										2005			Total
		Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar		
ACS	30	2,181	2,446	3,180	1,877	1,662	2,393	3,178	2,775	1,553	1,777	1,188	1,356	25,566	
Kluwer	682	263	186	256	280	235	305	594	617	592	877	-	-	4,205	
LINK(Springer)	405	708	835	836	790	676	907	756	809	829	1,173	1,993	2,302	12,614	
NATURE	18	2,775	2,082	2,484	2,051	1,829	2,295	2,185	2,685	1,940	4,511	2,890	2,793	30,520	
SCIENCE	1	899	760	853	671	633	547	735	767	547	636	567	720	8,335	
SD(ELSEVIER)	606	9,908	10,124	10,398	10,032	7,647	9,457	13,753	9,940	7,855	9,512	8,297	13,402	120,325	
WILEY	360	1,864	2,336	2,016	1,539	1,296	2,017	2,340	1,901	1,518	1,992	1,822	1,746	22,387	
Total	2,102	18,598	18,769	20,023	17,240	13,978	17,921	23,541	19,494	14,834	20,478	16,757	22,319	223,952	

4) 資料の組織化(中期計画コード:1220304)

平成12年度から10年計画で遡及入力事業を実施しており、平成16年度は5年目にあたり、下記資料のとおり遡及新規データ1.8万冊、遡及修正データ2.8万冊を加え、合計4.6万冊を入力した。5年間で本館開架閲覧室、本館書庫の人文・社会科学、文学について遡及入力が終了した。現時点(H17.3.31)で、OPAC入力率65.6%、未入力冊数は21.5万冊である。

○平成16年度遡及入力状況

	平成16年度	平成15年度 (H16.3.31)
A.蔵書数(H17.3.31)	80.5	79.5
B.入力対象外冊数(製本雑誌)	18.0	17.6
C.入力対象冊数(A-B)	62.5	61.9
D.遡及新規データの冊数	1.8	-
E.遡及修正データの冊数	2.8	-
遡及入力冊数計(D+E)	4.6	-
F.受入新刊書入力冊数	0.7	-
G.年間データ入力冊数(D+F)	2.5	-
H.入力済冊数(G+H(前年まで))	41.0	38.5
I.OPAC入力率(H/C×100)%	65.6%	62.2%
J.未入力冊数(C-H)	21.5	23.4

(万冊)

## 5. 図書館活動

### (1) 図書館案内ツアー等各種ガイダンス(中期計画コード:1130204)

#### 1) 新入生を対象としたオリエンテーション

4月7日、工学部新入生 575人、工学部夜間主コースの学生116人を対象に、図書館担当者7名が学部オリエンテーション会場に赴いて図書館利用について説明した。4月12日、総合科学部の新入生268人を対象に大学入門講座の一環として、図書館の概要説明及び図書館利用案内ビデオを上映した。

一方蔵本分館では4月6日から12日にかけて、医学部・歯学部・薬学部・医療技術短期大学部の新入生(学部によっては2年生、大学院制も含む)728人を対象に、図書館利用に関するオリエンテーションを行った。なお薬学部・医療技術短期大学部については、図書館案内ツアーも行った。

#### 2) 図書館案内ツアー

図書館の各施設・設備、OPACの使い方などを説明する図書館案内ツアーを実施して、4月12日から27日の間に本館で5回、蔵本分館で1回行った。参加者はそれぞれ49人、1人であった。(写真:21ページ)

#### 3) OPAC検索・各種データベース等ガイダンス

本館ではOPAC検索の説明会は図書館案内ツアーに含めて実施した。参加は49人であった。これとは別に総合科学部教員から依頼によって情報検索入門のガイダンスを3回実施した。4月20日は「文献検索及び文献の取り寄せ」で6人、「OPAC、県立図書館蔵書検索等」で15人、4月30日にはOPACと館内ツアーを組み合わせたガイダンスを行い、19人の参加があった。

化学情報のデータベースであるSciFinder Scholarの講習会を初級編・中上級編に分けて実施した。化学情報協会から講師を招き、本館、蔵本分館の2会場で開催し、それぞれ58人、41人(内訳 初級:44人、中・上級:55人)の参加があった。

その他の学術データベースである医中誌Web、PubMed、併せてOPAC操作法の説明を教員、学部学生、院生対象に行い、12月9日、10日の二日間で47人の参加があった。

電子ジャーナル講習会として、Science Directを題材にして初級コースの講習会を10月15日に開き、42人(内訳 学部生22人,大学院生7人,教員3人,職員10人)の参加があった。

### (2) 図書館の広報及び出版活動(中期計画コード:4200101)

図書館の広報検討ワーキンググループにおいて、図書館広報誌の在り方また内容・配布方法等について検討した結果、館報及び図書館ホームページの見直しを実施した。

#### 1) 図書館ホームページ

全面的なりニューアルを実施した。全体のデザインや構成を見直し、シンプルで使いやすいものを目指すとともに、附属図書館が提供しているサービスをよりわかりやすく掲載内容の整理・再編を行った。公開は平成17年4月1日。トップページのURLは変更することなく、そのまま置き換えた。

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

## 2) 出版物

旧来の印刷版図書館報「すだち」及び分館速報版「MLニュース」を統合するとともに、印刷・配布用の冊子方式から電子化、ネットワーク配信による迅速かつ効果的・効率的な広報を実施するメールマガジン方式(月1回発行)に変更した。メールマガジン「すだち」の創刊号は2月17日に配信した。

(創刊号TOPページ)

国立大学法人徳島大学 附属図書館報

メールマガジン「すだち」 毎月1回発行(無料)

2005/02/17 創刊号

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/>

このメールマガジンは登録いただいた方にお送りしています。

### 【目次】

メールマガジン「すだち」創刊について

創刊にあたって「徳島大学学長 青野敏博」

電子ジャーナル等の整備状況について

ちょうりゅう(お知らせ)

・本館の廊下・階段に「手摺り」を設置

・サイフ等の盗難が発生!!

・蔵本分館臨時休館のお知らせについて

・蔵本分館3月金曜日の時間外特別利用について

---

## ○メールマガジン「すだち」発行要領(平成17年2月)

### 1. 目的

現在の図書館報「すだち」および分館速報版「MLニュース」を統合するとともに、印刷・配布の冊子方式から電子化、ネットワーク配信によるメールマガジン方式に変更す



る。これによりホームページと併せて迅速かつ効果的・効率的な広報を実施する。なお、名称は「すだち」とする。

## 2. 構成

- (1) 図書館からのお知らせ、行事、活動計画等
- (2) 巻頭言、特集・シリーズ、図書館・学術情報の動向紹介
- (3) 利用者の声、図書館職員からのメッセージ、メールマガジンに寄せられた感想・意見等
- (4) 統計

## 3. 配信対象

- (1) 本学の教職員・院生・学生
- (2) 学外の組織・個人

上記の希望者を原則とする。登録解除は、図書館利用申請・更新時、ホームページ上で受付ける。

## 4. 運用方式

- (1) 月1回発行する。(平成17年2月より)
- (2) 速報等のお知らせは通号とせず、号外とする。
- (3) バックナンバーはHPに掲載する。
- (4) PC版と携帯電話版を同時発行。携帯電話版はPC版の目次と簡単な内容説明。

## 5. 発行体制

- (1) 編集：館長、分館長、部・課長
- (2) 原稿収集・発信等：総務係
- (3) 技術サポート：電子情報係

## 6. 形式・デザイン

- (1) 行の文字数は半角70文字(全角35文字)とする。
- (2) 本文はテキスト形式とする。
- (3) 等幅フォントの環境を前提に記述する。
- (4) レイアウトは別紙の通りとする。

## 7. 考えられるテーマ例

- (1) 新入生、新任教職員向け館内案内
- (2) ガイダンスのお知らせ
- (3) 電子ジャーナルについて、利用統計など
- (4) 学生希望図書について募集、購入率や実績
- (5) 人気のマルチメディアプラザについて
- (6) 卒論、論文作成のための図書館利用法
- (7) ILLや他の大学図書館を使ったサービスについて
- (8) 今話題の図書
- (9) 学術研究に役立つ情報

8. その他

メールマガジン管理ソフトを導入し管理業務を効率化する。

(3) 講演会等催事

平成16年度では、社会貢献・地域貢献と大学との関わりをテーマに学術講演会を開催した。講演会は平成3年度から開催し今回で16回目となるが、当日は林附属図書館長をはじめとする図書館職員、学内からは図書館運営委員、地域連携室の関係者また学外からは徳島県大学図書館協会加盟館の図書館職員、県立図書館職員、近隣の大学図書館職員等40名が聴講した。講演後の質疑応答では活発な意見交換が行われた。(写真:21ページ)

○第16回徳島大学附属図書館講演会

日時 平成17年2月9日(水) 午後2時~午後4時10分

場所 附属図書館本館3階大視聴覚室

講演

演題 「学術機関リポジトリ - 新しい電子図書館機能 - 」

副題 大学改革の目標としての国際化・社会連携の観点から一

講師 広島大学図書館部長 平元健史 氏

講演

演題 「社会貢献・地域貢献における大学図書館の役割」

副題 地域の活性と図書館

講師 三重大学図書・情報部長 木下伸二 氏

6. 地域社会等及び他機関との連携・協力（中期計画コード：1310104）

（1）一般市民等への公開

図書館サービスを推進するため、学外者への図書貸出サービスを学生並にするため、本館では貸出期間を8日から14日に、蔵本分館では8日から10日に延長した。

年 度	館 名	貸 出 者 数	貸 出 冊 数	入 館 者 数
平成14年度	本 館	450	938	6,482
	蔵本分館	281	584	6,556
平成15年度	本 館	526	1,091	7,689
	蔵本分館	219	471	7,685
平成16年度	本 館	570	1,208	11,159
	蔵本分館	331	752	7,519

（2）他機関との連携

1）学内

全学共通教育センター

全学共通教育センターとの連携協力において、大学入門講座用として作成した図書館利用案内ビデオ・PPTの評価を受けた。

各学部のビデオ等利用状況については、次のような状況であった。

- ・総合科学部はビデオを利用した。
- ・医学部地区はビデオが本館のことであったために利用していない。  
蔵本分館の利用ガイドのようなものが欲しい。
- ・工学部は施設見学のようなことで図書館を訪問した。
- ・文献検索の紹介などは、入門講座ではまだ早すぎるように感じた。  
2・3年生対象にすれば、総合科学部とかでは有効かと思う。
- ・理工系では、雑誌の論文検索がより重要のように思う。

全体的には、データベースの説明や文献検索について依頼されビデオやデータベースマニュアルを作成したが、大学入門講座の対象者は新入生のため、当初図書館で予想していたとおり、入学直後の時期なので早すぎたようであった。

今後は、今回作成した資料をホームページで公開する等、新入生以外の利用者も利用できるように検討したい。

高度情報化基盤センター

図書館システムの更新を高度情報化基盤センターと一括で契約することを協議し合意した。

## 2) 学外(図書館界での諸活動等)

### 国立国会図書館

国立国会図書館ではレファレンス共同データベース実験事業を行っており、平成16年度の第2期参加館募集に応募し、参加した(12月)。国立大学図書館は33館が参加している。

この実験事業に参加することで、他館のレファレンス事例やマニュアル等を参考にし、レファレンス業務の効率をアップするとともに、職員のレファレンス能力の向上を図りたい。また、館種を越えたレファレンスデータベースが業務改善におよぼす影響についても検証したい。

### 国立大学図書館協会

- ・理事会(平成15年度第4回)

平成16年5月21日 場所: 東京大学附属図書館 出席者: 渡辺事務部長

- ・総会(第51回)

平成16年7月1日 場所: 大阪大学コンベンションセンター

出席者: 林館長、渡辺事務部長、中澤情報管理課長

- ・経営問題委員会

平成17年1月28日 場所: 九州大学附属図書館 出席者: 渡辺事務部長

- ・シンポジウム(西地区)

平成16年11月29~30日 場所: 広島大学図書館 出席者: 田中総務係長

- ・国立大学図書館協会賞等専門委員会

平成17年12月3日 場所: 広島大学図書館 出席者: 渡辺事務部長

### 中国四国地区国立大学図書館協会

- ・総会(第31回)

平成16年4月23日 場所: リジェール松山

出席者: 渡辺事務部長、弘瀬情報サービス課長

- ・実務者会議(平成16年度)

平成16年10月7日 場所: 鳥取大学附属図書館

出席者: 田中分館情報サービス係主任

### 中国四国地区大学図書館協議会

- ・総会(第52回)

平成16年4月22日 場所: リジェール松山

出席者: 渡辺事務部長、弘瀬情報サービス課長

- ・研究集会(第45回)

平成16年10月18~19日 場所: 岡山大学

出席者: 吉本情報サービス係長、近藤図書情報係主任

N P O 法人日本医学図書館協会

・総会（平成 16 年度）

平成 16 年 5 月 27 日 場所：学術総合センター

出席者：折原分館資料情報係長

・中国四国部会総会（第 40 回）

平成 16 年 12 月 2 日 場所：山口大学

出席者：折原分館資料情報係長

徳島県大学図書館協会

・総会（平成 16 年度）

平成 17 年 3 月 14 日 場所：徳島大学附属図書館(幹事館)

出席者：林館長、渡辺事務部長、中澤情報管理課長、

弘瀬情報サービス課長、田中総務係長

○平成 16 年度徳島県大学図書館協会総会次第

日 時 平成 17 年 3 月 14 日（月）10：00～

場 所 徳島大学附属図書館本館 1 階会議室

〒770-8507

徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

電 話 088-656-7584

F A X 088-656-7587

当番館 幹事館 徳島大学附属図書館

日 程

1 受 付 9：50～10：00

2 開催挨拶 徳島大学附属図書館長 林 弘 10：00～

3 議長選出

4 協 議

(1) 次年度以降の総会の時期について (徳島大学提出)

(2) 平成 16 年度事業報告について (徳島大学提出)

(3) 平成 16 年度会計報告について (徳島大学提出)

(4) 平成 16 年度会計監査報告について (阿南工業高等専門学校)

(5) 平成 17 年度事業計画(案)について (徳島大学提出)

(6) 平成 17 年度予算(案)について (徳島大学提出)

(7) 平成 17 年度～18 年度幹事館の選出について (徳島大学提出)

(8) 平成 17 年度監査館の選出について (徳島大学提出)

(9) その他

5 報 告

(1) 国立大学図書館協会の最近の動向について

(2) 私立大学図書館協会の最近の動向について

(3) 参加館の現状について

(4) その他

6 閉会挨拶 徳島大学附属図書館長 林 弘

・研修会

平成 17 年 2 月 9 日 場所：徳島大学附属図書館(当番館)

出席者：中澤情報管理課長、田中総務係長、

杉友図書情報係長、吉本情報サービス係長

○平成 16 年度徳島県大学図書館協会研修会開催要項

1. 日 時 平成 17 年 2 月 9 日(水) 13 時 50 分～17 時 20 分

2. 場 所 徳島大学附属図書館本館 1 階会議室及び 3 階大視聴覚室

〒770-8507

徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

電 話 088-656-7584

F A X 088-656-7587

3. 当番館 徳島大学附属図書館

4. 日 程

13:20 受付(1階 附属図書館玄関入り口)

13:50 開会挨拶(3階 大視聴覚室)

14:00 講演 (3階 大視聴覚室)

講師 平元 健史 広島大学図書館部長

演題 「学術機関リポジトリ—新しい電子図書館機能—」

副題 —大学改革の目標としての国際化・社会連携の観点から—

15:00 休憩

15:10 講演

講師 木下 伸二 三重大学図書・情報部長

演題 「社会貢献・地域貢献における大学図書館の役割」

副題 —地域の活性と図書館—

16:10 休憩(1階会議室へ移動)

16:20 情報交換等(1階会議室)

17:20 閉会挨拶(1階会議室)

中国四国地区国立大学図書館学術情報・図書館・事務部長会議

平成 16 年 6 月 10 日 場所：広島大学図書館 出席者：渡辺事務部長

中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議

平成 16 年 11 月 26 日 場所：岡山大学附属図書館(当番館：鳥取大学)

出席者：渡辺事務部長、中澤情報管理課長

## 7. その他

### (1) 職員研修(中期計画コード:2300503)

職員の実務に関する基礎的・専門的な知識の習得を図るため、学内外の研修に積極的に参加させるとともに、館内においては、新任職員や新たに他の部局から図書館職員となった者を対象に研修を実施(初任者等研修会)した。また、研修に参加しなかった職員も含めてスキルアップを図るため、研修会等の報告会を実施した。

#### ○平成16年度附属図書館初任者等研修実施要項

目的: 附属図書館に新たに勤務することとなった職員に対し、大学図書館をめぐる諸問題と図書館業務全般に関わる基礎的知識・技術を習得させることを目的とする。

研修名: 附属図書館初任者等研修

日程: 平成16年5月11日(火)

場所: 会議室ほか

対象者: 原則として平成16年4月1日以降の新規採用者(有期雇用職員含む)

受講予定者: 佐藤分館情報サービス係員(16.4.1 新規採用) 田中総務係長(16.4.1 他部署より異動) なお、上記の者以外でも業務に支障のない範囲で受講可能

日時:[5月11日(火)]

9:00~9:45	開講挨拶	事務部長
	大学図書館をめぐる諸問題等	情報管理課長
9:50~10:10	徳島大学と附属図書館の概要	情報サービス課長
10:10~10:40	大学図書館における情報サービス	情報サービス課長
10:50~11:20	会計関係の基礎知識	総務係長
11:20~11:50	図書館資料の整備(主に図書)	図書情報係長
	[午後]	
13:00~13:30	利用者サービス業務	
	(情報サービス系の業務を中心に)	情報サービス係長
13:30~14:00	利用者サービス業務	
	(学術情報系の業務)	電子情報係長
14:10~14:40	利用者サービス業務	
	(電子情報系の業務)	電子情報係長
14:40~15:30	各係実務見学(各10分)	各係長ほか
	雑誌情報係 図書情報係 情報サービス係 電子情報係 学術情報係	
	[蔵本分館に移動]	
16:30~17:30	蔵本分館の業務全般	分館資料情報係長
17:30	終了	

○平成16年度附属図書館職員研修結果

研 修 名 等	研 修 日	参加数
1. 学内外の研修		
1) 学内		
平成16年度国立大学法人徳島大学初任者研修	7月 1日	2名
平成16年度徳島大学英会話研修(初級)	9月22日～12月15日	2名
平成16年度徳島大学英会話研修(中級)	9月30日～12月16日	1名
2) 学外		
平成16年度四国地区国立大学法人等共同初任者研修	6月28日～30日	2名
情報システム統一研修(平成16年度第1/四半期)(総務省)	4月～6月	1名
LIMEDIO Seminar 2004(大阪市)	6月29日	1名
平成16年度徳島県図書館職員研修会(県立図書館)	6月30日	2名
同上	7月14日	1名
平成16年度大学図書館職員長期研修(筑波大学)	7月 5日～16日	1名
平成16年度古文書保存講座(徳島県立文書館)	7月22日～23日	2名
情報セキュリティセミナー(文部科学省)	8月31日	2名
平成16年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議(鳥取大学)	10月 7日	1名
第45回中国四国地区大学図書館研究集会(岡山大学)	10月18日～19日	2名
学術講演会(広島大学)	9月28日	1名
平成16年度後期放送大学利用職員研修	10月～3月	1名
平成16年度第3回徳島県図書館職員研修会(県立図書館)	11月26日	2名
第17回国立大学図書館協会シンポジウム(西地区)(広島大学)	11月29日～30日	1名
NII Library Week 2004(京都市)	12月 9日	1名
情報システム統一研修(平成16年度第4/四半期)	1月～3月	2名
平成16年度学術情報リテラシ教育担当者研修(NII)(大阪大学)	1月19日～21日	1名
平成16年度著作権セミナー(文化庁)(松山市)	2月 2日～ 4日	1名
広島大学図書館・九州大学附属図書館ジョイントシンポジウム	3月 3日	1名
(2) 図書館開催		
平成16年度附属図書館初任者等研修	5月11日	5名
平成16年度附属図書館講演会(16回)	2月 9日	28名
(3) 研修会等の報告会(別紙資料)		
・第1回報告会	9月10日	28名
・第2回報告会	12月10日	25名
・第3回報告会	2月25日	26名



( 2 ) 安全管理体制の充実 ( 中期計画コード : 5200104, 5200105 )

防災体制を充実するため、本館・蔵本分館各地区における防災マニュアル及び消防計画の作成を検討した。防災マニュアルについては各地区において図書館以外の部局との関連で作成に至らず、次年度に作成することとなった。消防計画 ( 10月26日制定 ) に基づき消防訓練 ( 本館 : 12月24日 参加者32名 蔵本分館 : 3月25日 参加者14名 ) を実施した。 ( 写真 : 21ページ ) 両訓練日は定例の休館日でほぼ図書館職員全員が参加するとともに、本館では夜間時間外要員 ( 学生バイト ) も参加した。また時間外開館における防犯体制の強化を図るため、緊急連絡体制の見直しを行い、設備面でも概算要求 ( 無人開館用設備等 ) を行った。なお、図書館経費で、緊急連絡用電話 ( 携帯電話 )、デジタルカメラの購入、蔵本分館書庫出入り口の鍵の取り替え及びカウンター部分と雑誌閲覧室の遮断のためシャッターを取り付けた。

○徳島大学附属図書館消防訓練実施要領 ( 本館 )

1 . 目的

附属図書館で火災が発生した場合を想定し、消防訓練を実施する。訓練内容は通報・連絡体制等の確立と避難誘導及び消火作業の迅速な対応を目的とする。

2 . 実施日

平成16年12月24日 ( 金 ) 午前11時~11時20分

想定 日 時 : 平成16年12月24日 ( 金 ) 午前11時00分出火予定

出火場所 : 附属図書館本館1階集密書庫

3 . 実施内容の概要

( 1 ) 12月24日 ( 金 ) 午前11時00分に火災報知機が作動した。

( 2 ) 警報鳴動に伴い出火場所を確認後、消防署へ通報、館内放送、入館者の誘導、初期消火等の訓練を行う。

4 . 実施要領

( 1 ) 通報訓練

火元を確認後、館内放送で『消防訓練、消防訓練、1階書庫で出火、延焼中です。消火班、避難誘導班は至急行動してください。図書館利用者は避難誘導員の指示により正面玄関、及び2階南東非常口から避難してください。』と放送するとともに、消防署へ通報する。

消防署への通報は『訓練火災、訓練火災、南常三島町2丁目1番地、徳島大学附属図書館1階が火事です。建物は3階建です。』と通報する。 ( 受話器をとるが、通報はしない )

( 2 ) 消火訓練

館内放送後、消火班は付近の消火器を持って火元に行く。

出火場所近くの屋内消火栓のホースを操作する。 ( 消火器、ホース筒先をドアに向ける : 放水等はしない )

警備班は消防車等がスムーズに入れるように図書館近辺で整理・誘導をする。 ( 工学部正門ゲートの南付近で待機のみ )

### (3) 避難誘導訓練

館内放送後、避難誘導班は混乱を生じないように、大声ではっきりと、避難場所を指示する。

避難場所は、1階玄関前及び図書館南側駐車場。(雨天時は1階事務室)

各担当者は、避難状況を情報サービス課長に報告する。(2階カウンター前)

## 5. その他

### (1) 訓練参加者

館長、本館職員及び蔵本分館職員(一部)

### (2) 参加者の担当部署

附属図書館自営消防団組織編成表(勤務時間内)に基づく。

消防班は電子情報係の他、図書情報係の一部職員が参加する。

図書館利用者の想定は、本館職員(担当割り当てのない者)、蔵本分館職員で担当する。

### (3) 訓練前後の勤務態勢

図書館利用者となっている職員は、訓練開始5分前に閲覧室等で待機。

その他の職員は通常の勤務態勢で待機。

館長は研究室で待機し、連絡があれば図書館へ駆けつける。

## (3) 図書館事務組織の見直し

法人化に伴い、今後も職員の削減等が予想されること、図書館専門員が現在配置されていないことから蔵本地区の勤務管理の問題、また併任係長の問題など業務を遂行する上で問題点が出てきた。一方大学全体として今後の事務組織の在り方についての検討が開始されたことに伴い、それらの動向を踏まえた図書館としての組織等の見直し案を策定する必要があるため、図書館内に係長以上で検討ワーキングを設置し検討を開始した(11月)。

また、1月26日開催の事務連絡協議会で、事務局長より事務組織の見直しが付託された。図書館についても、期限がないものの同様に付託された。その内容は、部制を廃止し、蔵本分館に分室長を配置し効率化を図るものとなっている。したがって、検討ワーキングではこのことを踏まえ検討した。

### ○主な検討事項

法人化後の業務分析、業務マニュアルの整備等

## (4) 諸会議

### 1) 附属図書館運営委員会

#### ○第1回附属図書館運営委員会

日時：平成16年6月29日(火)16時～

場所：附属図書館本館会議室

議題

1. 附属図書館運営経費について
  - (1) 平成15年度決算
  - (2) 平成16年度予算
2. 平成16年度附属図書館事業計画(案)について
3. コア・ジャーナル(2005年以降)の見直しについて
4. その他

#### 報告事項

1. 蔵本分館運営委員会(第1・2回)について
2. 常三島地区運営委員会(第1回)について
3. 平成17年度概算要求参考資料の提出について
4. 次期図書館電子計算機システムの更新について
5. 平成16年度附属図書館新入生等オリエンテーションの実施結果について
6. 平成15年度学長裁量経費による事業報告について
  - ・所蔵資料の遡及入力の実施(第4年次)
7. 平成15年度附属図書館事業計画実施報告について
8. 平成16年度科学研究費補助金(データベース)の申請結果について
9. 青野学長と林館長との面談について
10. 会議報告について
  - (1) 第52回中国四国地区大学図書館協議会総会等
  - (2) 平成15年度第4回国立大学図書館協会理事会及び第51回国立大学図書館協会総会等
  - (3) 平成16年度日本医学図書館協会総会
11. その他
  - (1) 図書館統計(年度別)
    - ・開館状況、貸出状況、相互協力(文献複写、現物貸借)、参考調査及び入館者数
  - (2) その他
    - ・規程等
    - ・図書館の業務と問い合わせ先

#### ○第2回附属図書館運営委員会

日時：平成16年10月26日(火)10時～ 場所：蔵本分館会議室

#### 議題

1. 附属図書館長候補者の選考日程について
2. 附属図書館消防計画(案)について
3. 2005年及び2006年以降のジャーナル等について
4. その他

#### 報告事項

1. 常三島地区図書選定委員会(第1・2回)について
2. 「ジャーナル等の諸問題についての意見交換会」について
3. 附属図書館自己点検・評価専門委員会(第1回)について

4. 平成16年度附属図書館事業計画の進捗状況について  
(前回の運営委員会以降の主な実施済について説明)
5. 青野学長と林館長等との面談について
6. その他
  - (1) オープンキャンパスにおける入館者(8/4,5,6)について
  - (2) 本館私費用コピー機の増設について
  - (3) 読書週間(10/27~11/9)に際して
  - (4) 台風等による建物等の被害状況について
  - (5) その他

### ○第3回附属図書館運営委員会

日時：平成17年2月2日(水)10時~

場所：附属図書館本館会議室

#### 議題

1. 附属図書館長候補者の選考について
  - (1) 附属図書館長候補適任者の一覧表
  - (2) 附属図書館長候補者の投票方法等について
  - (3) 附属図書館長候補適任者の略歴
  - (4) 附属図書館長候補適任者の抱負・識見
  - (5) 附属図書館長選考規則他
2. 附属図書館運営委員会規則及び蔵本分館運営委員会規則の改正について
3. 平成17年度附属図書館予算について
4. その他

#### 報告事項

1. 蔵本分館運営委員会(第3回)について
2. 平成16年度附属図書館事業計画の進捗状況について  
(前回の運営委員会以降の主な実施済について説明)
3. 中期計画に係る平成16年度「年度計画の進捗状況に関する中間評価(1月評価)」について
4. 平成16年度学長裁量経費(追加)の決定について
5. 中期計画に係る平成17年度「学部等に固有の年度計画」について
6. 平成17年度開館時間について
7. 平成17年度学長裁量経費による事業計画の推薦について
8. 読書週間(10/27~11/9)に際しての提言募集結果について
9. 附属図書館消防訓練(12/24)の実施結果について
10. メールマガジン「すだち」の発行について
11. 附属図書館講演会(2/9)について
12. その他

## ○第4回附属図書館運営委員会

日時：平成17年3月24日(木)10時～

場所：蔵本分館会議室

### 議題

1. 附属図書館分館長候補者の選考日程(案)について
2. 附属図書館に関する規則等の改廃について
3. 中期計画に係る平成16年度「年度計画」に関する最終評価について
4. 平成17年度附属図書館事業計画(案)について
5. 平成17年度附属図書館文献複写料金について
6. 図書の処分について
7. その他

### 報告事項

1. 平成16年度附属図書館事業計画の実施報告(進捗)について
2. 平成17年度図書館案内ツアー等各種ガイダンス計画について
3. 平成17年度学長裁量経費の決定について
4. Web of Science(又は Scopus)の導入に向けて
5. メールマガジン「すだち」第2号(3/17)について
6. 蔵本分館の消防訓練(3/25)の実施予定について
7. 平成16年度徳島県大学図書館協会総会(3/14)について
8. その他

## 2) 附属図書館蔵本分館運営委員会

### ○第1回蔵本分館運営委員会

日時：平成16年4月27日(火)9時10分～

場所：蔵本分館会議室

### 議題

1. 2005年コアジャーナルタイトル決定方法について
2. 雑誌書庫のスペースと受入・廃棄について
3. その他

### 報告

1. 図書館の開館時間延長に関する要望について
2. その他

### ○第2回蔵本分館運営委員会

日時：平成16年6月23日(水)13時10分～

場所：蔵本分館会議室

### 議題

1. 2005年コアジャーナルタイトルについて
2. その他

### 報告

1. 学部学生の時間外特別利用について

2. その他

○第3回蔵本分館運営委員会

日時：平成16年10月26日（火）附属図書館運営委員会終了後～ 場所：蔵本分館会議室

議題

1. 医療技術短期大学部委員と医学部委員について

2. その他

報告

1. 2005年電子ジャーナルコンソーシアム（中間報告）について

2. JCR のWEB化について

3. 蔵本分館の図書資料処分決定基準について

3) 附属図書館常三島地区運営委員会

○第1回常三島地区運営委員会

日時：平成16年6月22日（火）14:00～ 場所：附属図書館本館会議室

議題

1. 附属図書館常三島地区運営委員会委員長の選出について

2. 2005年コア・ジャーナルの見直しについて

3. 常三島地区図書館資料の選定案について

4. その他

報告事項

1. その他

5) その他の委員会

○第1回自己点検・評価専門委員会

日時：平成16年10月4日（月）11時～ 場所：附属図書館本館会議室

議題

1. 中期計画に係る附属図書館自己点検・評価について

2. その他

○第1回附属図書館図書選定委員会（常三島地区）

日時：平成16年6月29日（火）運営委員会終了後 場所：附属図書館本館会議室

議題

1. 附属図書館図書選定委員長の選出について

2. 平成15年度附属図書館（本館）学生用図書購入費決算について

3. 平成16年度附属図書館（本館）学生用図書購入費予算案について

4. 平成16年度第1回学生用図書の選定について

5. その他

報告事項

1. 平成15年度購入学生用図書リスト

○第2回附属図書館図書選定委員会（常三島地区）

日時：平成16年10月12日（火）9：00～ 場所：附属図書館本館会議室

議題

- 1.平成16年度附属図書館（本館）学生用図書の選定について
- 2.その他

報告事項

- 1.平成16年度学内協力費購入学生用図書

○第1回附属図書館図書選定委員会（蔵本地区）

日時：平成16年7月20日（火）メール会議

議題

- 1.平成16年度附属図書館（分館）学生用図書の選定について
- 2.その他

## ・課題等

### 1. 建物、施設・設備

#### (1) 附属図書館本館（南常三島）の新営

- 1) 建物の老朽化（昭和46年築）が甚だしく早期の新営が望まれる。しかし本学の施設整備目標（平成13～21年度）では早くとも平成20年度実施（改修及び増築）となっており、概算要求も順次遅れ気味で見通しは立っていない。当面は局所的な補修、利用環境整備、館内アメニティの改善により対処せざるを得ない状況である。
- 2) 最新の図書館では、他の施設（学部、共同利用施設、学生会館など）との複合施設として新営される例が散見される。生活スタイルの変化や設備の進歩に対応し、現状の学内組織や建物配置にとらわれることなく、次世代のキャンパス・コンセプトのもとでの新営が望まれる。例えば、近隣の保健管理センター、学生会館、食堂などとの複合施設化が考えられる。しかし、すでに南常三島団地では将来計画が策定（平成14年5月施設委員会承認）されており、それによれば、既存建物の現在地による改修・増築となっている。

#### (2) 蔵本分館の利用環境の整備

蔵本分館では利用者の要望によりサービス時間外について、教員・院生に対しては24時間、学部学生に対しては夜間12時まで（利用登録制）等の無人による時間外利用を提供している。しかし、冷暖房設備（ボイラー等）やセキュリティ設備が無人化に対応していないため、利用環境、資産管理、防犯が不十分なまま開放している。必要設備等は、「冷暖房設備の更新、自動貸出返却装置、監視カメラの設置、警備会社への通信設備」である。概算要求、学長裁量経費などにより早期の整備が必要である。

### 2. 資料の整備・充実

#### (1) 学生用図書 of 整備・充実

一人あたりの学生用図書受入数は、一人一冊にも達していない（23ページ参照）状況である。外部資金等による財源強化を図るとともに、シラバスとの連携など内容の充実を検討する必要がある。

#### (2) 学術雑誌（電子ジャーナル含む）整備・充実

学術雑誌は、平成16年度、附属図書館運営委員会において中期計画（平成21年度まで）期間における整備方針を策定し、全学に周知（部局長会議等）している。（25ページ参照）

これにより毎年度、経費の不安定による大幅な購読誌数（コンソーシアム含む）変動の調整に多くの時間・手間をかけることは無くなったが、引き続き共通経費化など、財源安定のための方策を検討する必要がある。



### (3) 学術情報データベース

本学の第一期基本計画における「学術研究の評価手段の整備」では「Web of Science」（引用文献情報データベース）導入が課題とされているが、概算要求により導入経費が措置される（24ページ参照）こととなった。平成17年度に導入を進めることになるが、予算は19年度までの3年計画で申請しているもので、計画終了後についてはあらためて継続利用を判断する必要がある。そのため、有用性の評価と経費の確保について見通しをたてる必要がある。

## 3. 利用者サービスの改善

### (1) 各種マニュアルの整備とガイダンスの充実（情報リテラシー教育の支援）

情報リテラシー教育の支援のため、体系的にマニュアルを整備し、これと連動したガイダンスの実施、授業へのカリキュラム化が必要である。

### (2) 本館・分館間のデリバリーサービス

図書貸出・返却サービスの実施が望まれる。

### (3) 開館方式の適正化

省エネルギー対策、利用者の要望・利便の両面から開館の年間日程、時間、有人・無人等の適正化を図る。

### (4) 広報の整備・充実

利用案内、概要、ホームページ、メールマガジン（図書館報）等の整備・充実および配布・配信方法の適正化に務め、積極的な広報活動を実施する必要がある。

## 4. 社会・地域連携

### (1) 県内公共図書館との連携を強化

平成16年度では、県立図書館によって県内大学図書館と公共図書館の蔵書横断検索システムが稼働した。本学においても同様の機能を整備するとともに、他の共同事業の企画、人的交流など、より連携を強化する必要がある。

### (2) 地域住民へのサービス充実

地域住民の利用促進のためのPR活動およびサービス内容の充実を図る。また、そのための組織（例：図書館友の会）作りも検討に入れる必要がある。

## 5. 組織・人事

### (1) 事務組織の再編

国立大学の法人化に伴い、殆どの大学で事務組織の再編が実施され、図書館を含んだ事例も数多く見られた。本学でも人件費抑制への対応、事務の効率化のため、大学事務組織の再編が検討されており図書館もこれに含まれている。図書館としては、事務部制の廃止を含め検討が必要であるが、業務全体を見直した上での発展的

な組織再編が必要である。

## (2) 人材育成

法人化によって大学の事務組織全体がスリム化される中では、どの部署においても、これまで以上に職員の専門性が要求される。とりわけ図書館職員には、資料、参考調査、情報検索、利用者教育など、従来から図書館職員に求められてきた能力に加え、情報技術、コンテンツ作成などの高度な専門性および大学職員としての企画・交渉・調整能力も必要となっている。そのため、有能な人材を採用するとともに、職員研修の強化に努め、長期的な人材育成を図る必要がある。

## 6. その他

### (1) 省エネルギー

大学の定める「CO2削減行動計画」をもとに、一方では、利用者サービスの低下に繋がらないよう工夫を施しつつ、省エネルギーに努める。

## ．その他

### 1．図書館係長会議

#### (1) 係長会議メンバー(平成16年4月現在)

渡辺事務部長

中澤情報管理課長、田中総務係長、柚友図書情報係長、折原分館資料情報係長

弘瀬情報サービス課長、吉本情報サービス係長、前田電子情報係長、田中分館情報サービス係主任

#### (2) 平成16年度係長会議開催日・議題等

第1回(平成16年5月12日 13:30～15:00) ・運営委員会に向けて等

第2回(平成16年6月15日 9:30～11:30) ・事業実施計画書、運営委員会議題等

第3回(平成16年7月9日 15:50～17:50) ・超過勤務、館友会、研修報告等

第4回(平成16年9月10日 9:15～10:15) ・超過勤務、自己点検評価、規程等

第5回(平成16年10月21日 9:15～12:00) ・超過勤務、諸規程、運営委員会議題等

第6回(平成16年11月17日 9:15～12:40) ・事務分掌細則、消防訓練等

第7回(平成16年11月25日 10:00～11:30) ・超過勤務関連

第8回(平成17年1月4日 13:15～16:00) ・検査院対応、事業関連等

第9回(平成17年1月31日 10:00～12:10) ・運営委員会議題、事務組織等

第10回(平成17年2月25日 13:15～16:30) ・事業報告・計画等

### 2．図書館内各種ワーキング(平成17年4月現在)

#### (1) 事務組織見直し検討ワーキンググループ(平成16年11月17日設置)

(平成17年4月1日構成員追加)

##### (目的)

1 法人化に伴い、今後職員の削減等が予想され、また図書館専門員が現在配置されていないことから蔵本地区の勤務管理の問題、併任係長の問題など業務を遂行する上で問題点が指摘されている。一方大学全体として今後の事務組織の在り方についての検討が進行しつつあり、それらの動向を踏まえた図書館としての組織等の見直し案を策定するため、検討ワーキングを設置する。

なお、事務組織の見直しにあたっては、スクラップアンドビルドも視野にいれ、直接利用者と接するフロント部門(図書館サービス業務)及び図書館のバックヤード部門(基盤整備業務)の両機能を司書職を主体とした専門集団が有機的に結合し、機能性・機動性を考慮した課・係あるいはグループで良質のサービスを提供できる体制を構築する。

##### (構成員)

2 ワーキンググループは、次の者をもって組織する。

主査 事務部長

副主査 情報管理課長

副主査 情報サービス課長

総務係長

図書情報係長

幹 事 分館資料情報係長  
情報サービス係長  
電子情報係長  
分館情報サービス係長

(意見等の聴取)

3 主査が必要と認めた時は、構成員以外の者の出席を求め、意見等を聴くことができる。

(その他)

4 これに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

(2) 広報検討ワーキンググループ(平成16年6月21日設置)  
(平成17年4月1日構成員変更)

(目的)

1 図書館の広報をより一層充実させるために、以下のことを行う。

(1) ホームページと図書館報の在り方について再検討する。

(2) 新ホームページの運用体制、内容、アクセス状況について評価を行い、運用規則を定める。

(3) メールマガジンの発行体制、要領、登録状況調査、内容等についての評価を行う。

(4) 図書館概要を作成する。

(5) 図書館年報を作成する。

(構成員)

2 ワーキンググループは、次の者をもって組織する。

主 査 情報サービス課長

副幹事 総務係長

近藤図書情報係主任

情報サービス係長

幹 事 電子情報係長

分館情報サービス係長

(意見等の聴取)

3 主査が必要と認めた時は、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務担当)

4 このグループの事務は、電子情報係が取り扱う。

(その他)

5 これに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

(3) 図書館システムワーキンググループ(平成16年6月21日設置)  
(平成17年4月1日構成員変更)

(目的)

- 1 次期図書館システム更新にかかる作業のために設置する。市場調査、資料収集、仕様書原案作成、仕様書作成などを行う。

( 構 成 員 )

- 2 このワーキンググループは、次の者をもって組織する。

主査 情報サービス課長

総務係長

近藤図書情報係主任

田中雑誌情報係主任

情報サービス係長

國見学術情報係員

幹事 電子情報係長

山本電子情報係員

分館資料情報係長

佐藤分館情報サービス係員

( 意見等の聴取 )

- 3 主査が必要と認めた時は、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

( 事務担当 )

- 4 このグループの事務は、電子情報係が取り扱う。

( その他 )

- 5 これに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

#### ( 4 ) 文献検索マニュアル作成ワーキンググループ (平成17年4月1日設置)

( 目 的 )

- 1 図書館ではこれまで各種ガイダンスを実施し、その都度目的に応じたマニュアルを作ってきた。これらを体系的に整理しなおし、本学の学生がレポートや論文を作成するときに必要な知識と技能をまとめたものを作成する。

( 構 成 員 )

- 2 ワーキンググループは、次の者をもって組織する。

主査 情報サービス課長

田中雑誌情報係主任

國見学術情報係員

九合学術情報係員

幹事 宮本分館情報サービス係長

佐藤分館情報サービス係員

( 意見等の聴取 )

- 3 主査が必要と認めた時は、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務担当)

4 このグループの事務は、分館情報サービス係が取り扱う。

(その他)

5 これに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

### (5) データベース作成ワーキンググループ(平成17年4月25日設置)

(目的)

1 近代大名(蜂須賀家)家臣団家譜史料データベースの作成及び公開するために図書館内にワーキンググループを設置する。

(構成員)

2 ワーキンググループは、次の者をもって組織する。

主 査 野村情報サービス課長

幹 事 前田電子情報係長

山本電子情報係事務員

國見学術情報係事務員

田中雑誌情報係主任

岩野総務係長

(意見等の聴取)

3 主査が必要と認めた時は、構成員以外の者の出席を求め、意見等を聴くことができる。

(その他)

4 これに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

### 3. 図書館関係諸規程等一覧(平成17年3月31日)

整理記号	規則等名称
徳島大学規則 集に掲載	徳島大学附属図書館規則
〃	徳島大学附属図書館運営委員会規則
〃	徳島大学附属図書館蔵本分館運営委員会規則
〃	徳島大学附属図書館長選考規則
〃	徳島大学附属図書館分館長選考規則
〃	徳島大学附属図書館利用規則
〃	徳島大学附属図書館本館利用細則
〃	徳島大学附属図書館蔵本分館利用細則
〃	徳島大学附属図書館貴重資料取扱規則
〃	徳島大学附属図書館文献複写等規則

〃	徳島大学附属図書館事務分掌細則
〃	附属図書館長選考の基本方針
〃	国立大学法人徳島大学図書管理規則
図書館内制定	徳島大学附属図書館常三島地区運営委員会規約
〃	徳島大学附属図書館自己点検・評価専門委員会規則
〃	徳島大学附属図書館将来計画委員会規則
〃	徳島大学附属図書館将来計画委員会の開催に関する申し合わせ
〃	徳島大学附属図書館広報委員会規則
	徳島大学附属図書館情報システム管理委員会規則
〃	徳島大学附属図書館ボランティア受入実施要項
〃	附属図書館図書選定委員会規約
〃	徳島大学附属図書館寄贈図書等受入取扱要領
〃	徳島大学附属図書館貴重資料指定基準
〃	一般貸出図書の延滞者に対する督促手順
〃	徳島大学附属図書館本館時間外特別利用についての申合せ
〃	徳島大学附属図書館大視聴覚室使用要領
〃	徳島大学附属図書館オーディオビジュアルメディア室利用要領
〃	徳島大学附属図書館グループ研究室利用要領
〃	徳島大学附属図書館インターネットによる広報実施要項
〃	徳島大学附属図書館貴重資料デジタル画像データ等取扱要領

蔵本分館

図書館内制定	カラー複写機の運用についての申合せ
〃	徳島大学蔵本地区教室・研究室等の特別貸出利用取扱要領
〃	徳島大学附属図書館蔵本分館時間外特別利用についての申合せ
〃	徳島大学附属図書館蔵本分館利用細則取扱要領
〃	雑誌の寄贈についての申合せ
〃	蔵本地区における収書の基本方針
〃	徳島大学附属図書館蔵本分館図書選定委員会規約
〃	特別貸出未製本雑誌の購読及び管理についての申合せ